

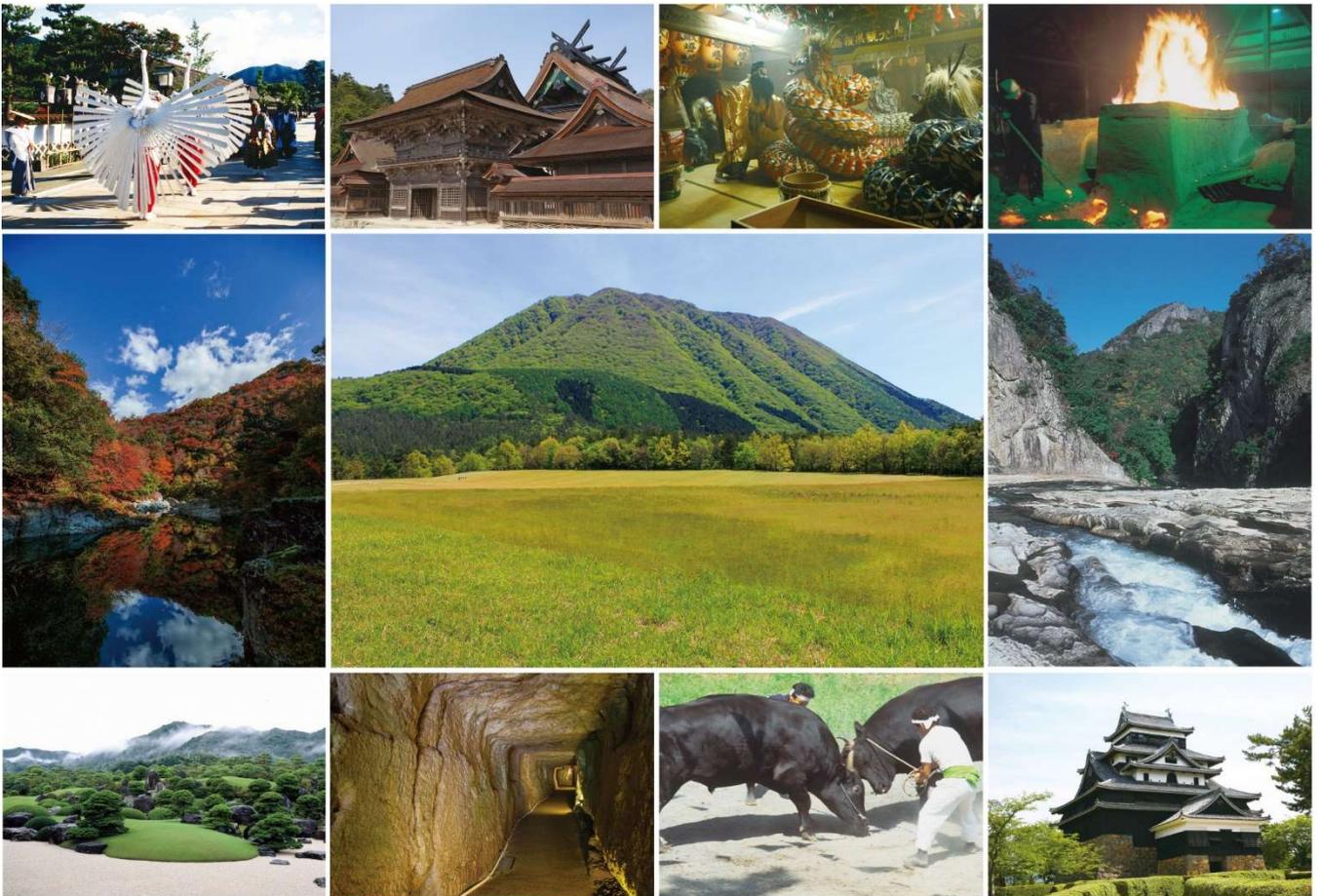


第71回

全国植樹祭 しまね 2020

木でつなごう 人と森との 縁(えにし)の輪

実施計画



 島根県

第1章 開催概要

1. 開催意義	1
2. 開催理念	2
3. 島根県の特徴を活かした大会の基本方針	2
4. 式典・大会の開催方法	3
5. 大会テーマ	4
6. 大会シンボルマーク	4
7. 大会ポスター原画	4
8. 大会テーマソング	4
9. 開催日	5
10. 主催	5
11. 開催規模	5
12. 開催会場	5
13. 会場概要	6

第2章 式典行事計画

1. 基本的な考え方	7
2. 式典演出計画	7
3. 式典運営計画	7
4. 式典進行プログラム	8
5. 音響・映像システム計画	13
6. 式典演出準備スケジュール	14

第3章 植樹行事計画

1. 基本的な考え方	15
2. お手植え計画	15
3. お手播き計画	17
4. 御収穫計画	19
5. 代表者記念植樹計画	20
6. 招待者記念植樹計画	21
7. 植樹要領	22
8. 植樹会場整備計画	24

第4章 会場整備計画

1. 基本的な考え方	26
2. 会場整備	26
3. 施設配置計画	26
4. 主要施設計画	28
5. 案内・誘導計画	32
6. 飾花計画	33
7. 電気・給排水・通信設備計画	35

第5章 運営計画

1. 基本的な考え方	36
2. 招待計画	36
3. 招待者行動計画	37
4. 受付計画	39
5. 特別接伴計画	40
6. 作品御覧・レセプション計画	41
7. 会場内動線計画	42
8. 会場おもてなし計画	43
9. サテライト会場計画	45
10. 昼食計画	46
11. 医療・衛生計画	47
12. 消防・防災・警備計画	48
13. 実施本部計画	51
14. 研修・リハーサル計画	52
15. 雨天時・強風時対応計画	53

第6章 宿泊・輸送計画

1. 基本的な考え方	54
2. 宿泊計画	54
3. 輸送計画	55
4. 運行管理体制・緊急時対応	57
5. 道路交通対策	57

第7章 荒天時式典計画

1. 基本的な考え方	58
2. 開催会場	58
3. 参加者一覧	58
4. 荒天時運営計画	59

第8章 記念事業等計画

1. 基本的な考え方	64
2. 記念事業の内容	64
3. 関連事業の内容	65

第9章 広報宣伝・協賛計画

1. 基本的な考え方	66
2. 広報計画	66
3. 協賛計画	67

1. 開催意義

本県では、先人の営々とした努力によって造成された森林資源が利用期を迎えつつあり、今後はこれを積極的に利活用していくことが重要になるなど、森林・林業を巡る情勢は大きな節目を迎えています。

こうした中で、令和2年5月31日に、第71回全国植樹祭が本県で開催されます。本県での全国植樹祭開催は、昭和46年以来49年ぶり、2回目となります。

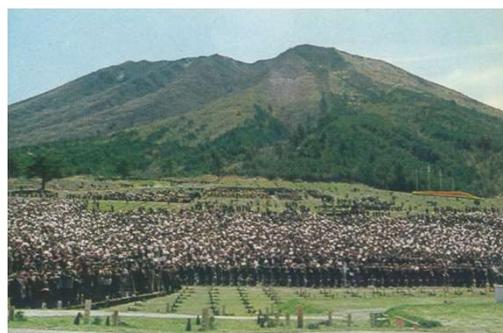
我が国における国土緑化運動の中心的な行事である全国植樹祭は、本県の森づくりや緑化活動等を全国に発信する絶好の機会であるとともに、県民参加による緑豊かな県土づくりを更に進める契機として期待されます。



島根県における全国植樹祭の開催状況

昭和46年(1971年)4月18日、島根県大田市三瓶町の三瓶山北の原において、第22回全国植樹祭を「多目的森林開発と環境緑化」を大会テーマとして開催しました。

この大会では、昭和天皇並びに香淳皇后がクロマツをお手植えになるとともに、県内外からの1万5千人の参加者により6ヘクタールの広大な原野に約2万本のクロマツが植栽されました。



第22回全国植樹祭会場(大田市三瓶山北の原)

2. 開催理念

島根県は、県土の約8割を森林が占める全国有数の森林県です。（森林率：全国第4位）

古くは、「たたら製鉄」で使用する木炭の生産を繰り返すことにより、森林の循環利用が成立していました。戦後、造成された人工林が利用期を迎えつつある今、生産される木材を暮らしの中で積極的に利用するとともに、伐採後の森林を適切に更新することが重要な課題となっています。本県で開催する全国植樹祭では、こうした新たな緑の循環を進める決意を全国にアピールします。

また、全国植樹祭の開催を通じて、森林や林業の役割と森林資源利用の意義を再認識するとともに、県民参加の森づくりを拡大する契機とします。

3. 島根県の特徴を活かした大会の基本方針

(1) 健全で豊かな森林を将来に引継ぎ、林業の成長産業化へつなげていく大会

① 循環型林業の実現にむけた木材利用や森づくりの発信

戦後、植林された森林資源が利用期を迎え、主伐による原木増産、製材品や木質バイオマス発電用燃料の安定供給等の積極的な木材利用、低コスト造林により、緑の循環を実現する循環型林業を促進します。

② 県民参加の森づくりの推進

水を育む緑豊かな森を次世代に引き継ぐため、平成17年度に「島根県水と緑の森づくり税」を導入し、県民参加の森づくりを積極的に推進してきました。

全国植樹祭に向けて、より多くの県民の方々に参画いただきながら開催の機運を盛り上げ、開催を契機として県民参加の森づくりを更に広げ、本県の豊かな森林を県民共有の財産として次代に引継ぎます。

(2) 島根県の歴史文化や豊かな自然などの魅力発信

本県は全国有数の森林県であり、また、長い海岸線を有するなど、優れた自然が各地に存在しています。

また、かつて出雲大社本殿は杉の巨木を柱に使用した木造の高層神殿であったこと、たたら製鉄や石見銀山の銀製錬、家庭用の燃料（明治以降）として木炭生産が盛んに行われ、森林を薪炭林として循環利用していたことなど、森林や木材と人の営みの歴史があります。

さらに、本県は「古事記」や「日本書紀」に描かれた日本発祥にまつわる神話の舞台でもあり、多くの伝説や伝統文化、史跡等が残されています。第71回全国植樹祭の開催が予定されている令和2年(2020年)は「日本書紀」編纂1300年の歴史的な節目の年に当たることもあり、本県の歴史・地域文化や観光資源等にも光を当て、全国に向けて情報発信します。

4. 式典・大会の開催方法

島根県における第71回全国植樹祭は、全国植樹祭及び全国育樹祭の歴史を通じて緑の循環を初めて実現する式典とし、日本の森林・林業の継承と発展を国民とともに誓います。

昭和46年の第22回全国植樹祭、平成3年の第15回全国育樹祭及び今回の第71回全国植樹祭を通じて、植樹、育樹、収穫利用、植樹を同じ会場で実施することにより、緑の循環を実現します。

(1) 収穫利用

第22回全国植樹祭及び第15回全国育樹祭の作業会場の一部を収穫本大会のお野立所や木製工作物、県内公共施設等の一部として利用

(2) 植樹概要

収穫した跡地に針葉樹・広葉樹を植樹

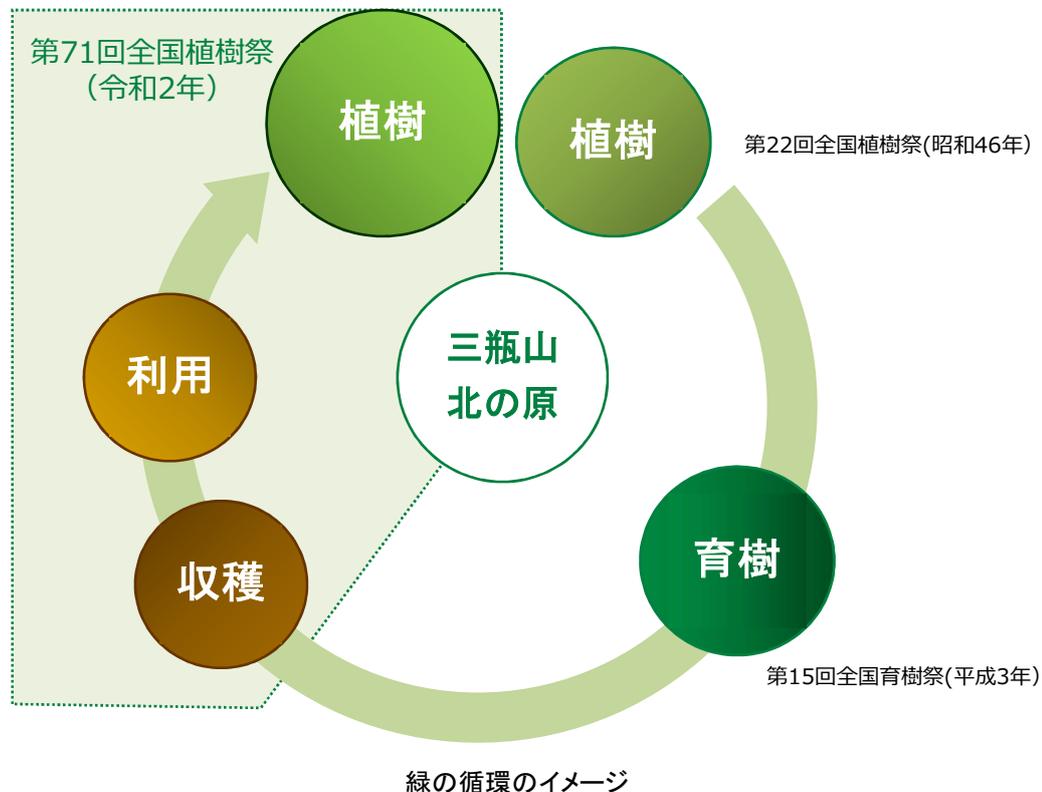
【参考】

(1) 第22回全国植樹祭（昭和46年）

植樹概要 6ヘクタールの原野にクロマツ約2万本を植樹

(2) 第15回全国育樹祭（平成3年）

育樹作業 枝打ち



5. 大会テーマ

全国から応募があった724点の作品の中から、選定しました。

木でつながろう 人と森との 縁(えにし)の輪

<作者> よしだ たかひろ 吉田 隆博さん (島根県大田市)

<選定理由> 人と森との深い繋がりや島根らしさを感じさせ、第71回全国植樹祭の開催理念も上手く表現された作品である。

6. 大会シンボルマーク

全国から応募があった821点の作品の中から、選定しました。

<作者> まつうら やすとも 松浦 康友さん (島根県出雲市)

<選定理由> 島根らしさを感じさせる要素がバランス良く配置され、大会テーマがよく表現されている。

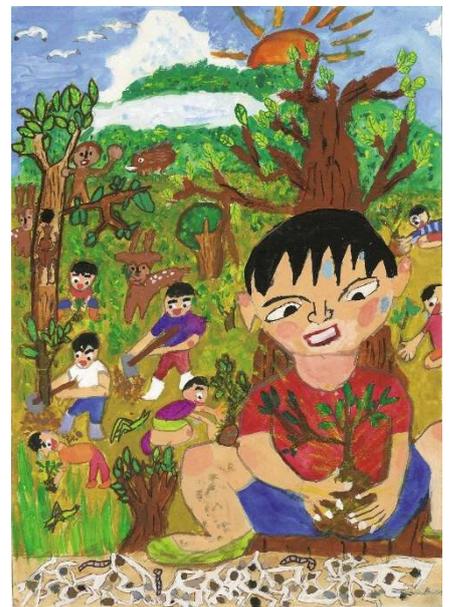


7. 大会ポスター原画

島根県内の小、中、高等学校及び特別支援学校の児童、生徒から応募があった121点の中から、選定しました。

<作者> みやぐち たいと 宮口 泰翔さん
(島根県出雲市立高浜小学校 4年)
※平成30年度(受賞当時)

<選定理由> 全員が土や苗に親しみながらとても楽しそうに、そして一生懸命に植樹活動をした様子が伝わってくる。
緑豊かな島根の自然を、とても多くの色と動植物も描くことでうまく表現している。
小学生らしい素朴さ素直さに加え、迫力がある作品となっている。



8. 大会テーマソング

- 楽曲名 : HOME (ホーム)
- 作詞・作曲・唄 : 浜田 真理子 (島根県出身の音楽家)

第71回全国植樹祭を広く全国に発信するため、明るく誰もが口ずさみやすい大会テーマソングとなっています。

9. 開催日

令和2年5月31日（日）

10. 主催

公益社団法人国土緑化推進機構
島根県

11. 開催規模

県内外から参加する招待者等6,000人程度の規模で開催します。
ただし、荒天時は縮小します。

< 参加予定者数 >

区分	参加予定者数	内訳
県外招待者	1,150人	国関係者、被表彰者、他県招待者 等
県内招待者	2,850人	県議会、市町村関係者、森林・林業・緑化関係団体、公募招待者、県実行委員会 等
出演者、実施本部員等	2,000人	出演者、実施本部員、協力員、運営ボランティア 等
合計	6,000人	

12. 開催会場

大田市 三瓶山北の原



13. 会場概要

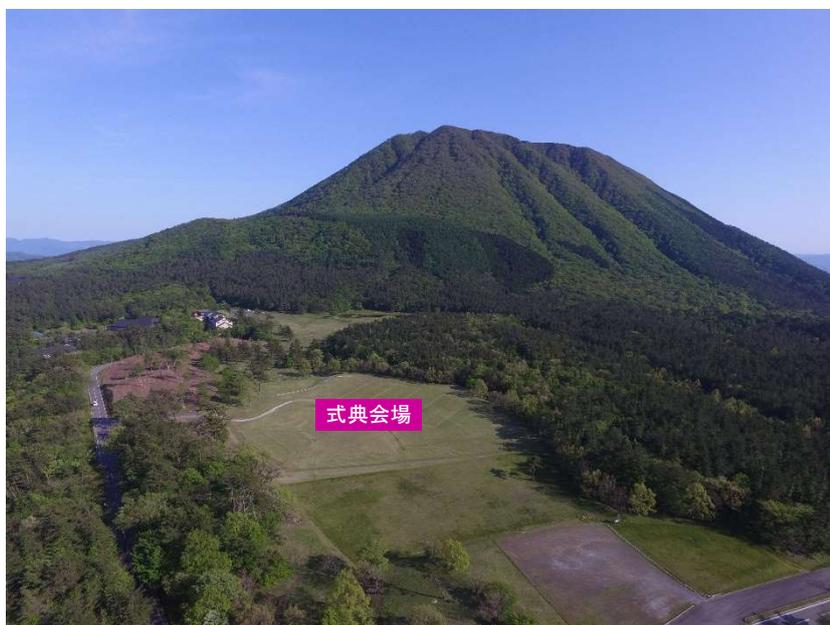
(1) 式典会場

式典会場では、天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き・御収穫をはじめとした式典行事を実施します。

また、各種の展示PRや物販を行う「おもてなし広場」を隣接地に設け、参加者を歓迎します。

大田市 三瓶山北の原

式典会場の三瓶山北の原は、後方に標高1,126mの「男三瓶山」を望み、春は周辺一面が新緑に覆われる風光明媚な会場です。大山隠岐国立公園の一部にも指定されており、古くから四季を通して自然に親しめる場所として多くの人々に愛されてきました。



式典会場空撮



植樹会場(多根)



植樹会場(小屋原)

(2) 植樹会場

第22回全国植樹祭（小屋原）及び第15回全国育樹祭（小屋原・多根）の作業会場の一部に招待者が記念植樹を行う植樹会場を設け、「循環型林業の実現に向けた取り組み」を象徴的に発信します。

(3) サテライト会場

より多くの県民の皆様には開催理念を共有していただき、全国植樹祭の開催効果を高めるため、サテライト会場を松江市、浜田市、隠岐の島町に設営します。

サテライト会場では、式典の中継や各種の展示PR等を実施します。

1. 基本的な考え方

- (1) 開催理念に掲げる緑の循環を進める決意を全国にアピールするとともに、参加者の心に残る内容の大会とします。
- (2) 式典は、簡素化を図りながらも、厳粛で品格があるものとします。
- (3) 子ども、高齢者、障がいのある方など、できる限り多くの皆様や大会に賛同いただいた企業、団体等が参加できるよう配慮します。

2. 式典演出計画

式典の構成は、「プロローグ」「式典」「エピローグ」の3部構成とします。

< 演出構成 >

区分	テーマ	内容
プロローグ	学ぶ ～森話のはじまりを学ぶ～	○参加者を歓迎する気持ちを表現すると共に、島根県において神話の時代から育まれてきた緑の循環の歴史を全国からの参加者に紹介します。
式典	誓う ～新たな森話を誓う～	○天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播き、御収穫、国土緑化功労者等の各種表彰、大会宣言、次期開催県へのリレーセレモニー等を行います。 ○開催理念や大会テーマ「木でつなごう 人と森との縁（えにし）の輪」をわかりやすく表現し、新たな緑の循環への誓いを発信します。
エピローグ	結ぶ ～緑のご縁を結ぶ～	○全国からの参加者と、ご縁の国しまねとの「緑のご縁」を結ぶグランドフィナーレです。

※森話（しんわ）とは、木を「伐って・使って・植えて・育てる」新たな緑の循環に向けての人々の営みを表す造語です。



参考例：第70回全国植樹祭愛知大会

3. 式典運営計画

- (1) 式典の運営は、参加者の安全性や快適性に十分配慮し、緑の少年団や農林大学校の学生等の協力を得ながら行います。
- (2) 司会者、アシスタント、式典音楽隊の出演者等については、地元団体をはじめ県内の関係団体等の積極的な協力と参加を得て編成します。

4. 式典進行プログラム

(1) プログラム

時間	プログラム	内容等
7:30 ～ 10:00	開場	開場告知・各種案内アナウンス等
プ ロ ロ ー グ		
10:00 ～ 11:00 (60分)	開催市長挨拶	大田市長
	島根県の紹介映像	<映像> 島根県の森林・林業、大会までの取り組み等を映像で紹介
	オープニング映像	<映像> “絶景！「神話の国しまね」ドローンシアター”
	プロローグアトラクション	学ぶ ～森話のはじまりを学ぶ～ 「緑の循環」の歴史を紹介
	感謝状の贈呈	「大会テーマ」「大会シンボルマーク」「大会ポスター原画」感謝状贈呈 ・贈呈：島根県知事 ・受贈：各受賞者
	記念切手贈呈	国土緑化運動記念切手贈呈 ・贈呈：日本郵政株式会社 ・受贈：島根県知事
	式典案内	奉迎準備
式 典 【 天 皇 皇 后 両 陛 下 御 臨 席 】		
11:00 ～ 12:00 (60分)	天皇皇后両陛下下御到着	
	開会のことば	(公社)国土緑化推進機構副理事長
	三旗掲揚・国歌独唱	三旗掲揚：緑の少年団、ボーイスカウト、ガールスカウト 国歌独唱：テノール歌手
	主催者挨拶	大会会長(衆議院議長) 島根県知事
	天皇陛下のおことば	
	表彰	授与者：大会会長、農林水産大臣、文部科学大臣、島根県知事 受賞者：受賞者代表(緑化功労者代表等)
	苗木の贈呈	緑の少年団から農林水産大臣と環境大臣に苗木を贈呈
	天皇皇后両陛下 御収穫・お手植え・お手播き 代表者記念植樹	御先導：(公社)国土緑化推進機構理事長、島根県知事 介添え：緑の少年団、島根県立農林大学校学生 等
	大会テーマ表現	誓う ～新たな森話を誓う～ 「緑の循環」への誓いを発信
	大会宣言	(公社)国土緑化推進機構理事長、島根県立農林大学校学生
	リレーセレモニー	次期開催県(滋賀県知事)への引継ぎ
閉会のことば	島根県議会議長	
天皇皇后両陛下御出発		
エ ピ ロ ー グ		
12:00 ～ 12:38 (38分)	エピローグアトラクション	結ぶ ～緑のご縁を結ぶ～ 伝統芸能による島根らしさの表現
	グランドフィナーレ	参加者との一体感を感じるグランドフィナーレ

(2) 登壇者一覧

No.	登壇者名	登壇場面等
1	大会会長（衆議院議長）	①天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ②主催者挨拶 ③表彰（国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール） ④天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
2	（公社）国土緑化推進機構理事長	①天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ②天皇皇后両陛下 御収穫・お手植え・お手播き ③大会宣言 ④天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
3	島根県知事	①感謝状贈呈 ②記念切手贈呈 ③天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ④主催者挨拶 ⑤表彰（島根県緑化功労者） ⑥天皇皇后両陛下 御収穫・お手植え・お手播き ⑦リレーセレモニー ⑧天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
4	農林水産大臣	①表彰（緑化功労者） ②苗木の贈呈
5	文部科学大臣	○表彰（全日本学校関係緑化コンクール）
6	環境大臣	○苗木の贈呈
7	（公社）国土緑化推進機構副理事長	○開会のことば
8	滋賀県知事	○リレーセレモニー・次期開催県知事挨拶
9	島根県議会議長	○閉会のことば
10	大田市長	○開催市長挨拶
11	島根県立農林大学校学生	○大会宣言
12	受賞者	①国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者代表 ②緑化功労者代表 ③全日本学校関係緑化コンクール入賞校代表 ④島根県緑化功労者代表
13	受賞者 大会テーマ 大会シンボルマーク 大会ポスター原画	○感謝状贈呈
14	日本郵政株式会社 代表執行役社長	○記念切手贈呈

(3) 出演者一覧

項目	人数 (予定)	内 訳
総合司会	1名	○アナウンサー
式典進行役	3名	○学校法人江の川学園 石見智翠館高等学校
手話通訳・要約筆記	7名	○島根県登録手話通訳者・要約筆記者
式典アシスタント	15名	○島根県立大田高等学校 ○島根県立瀬摩高等学校
式典音楽隊（吹奏楽）	142名	○島根県吹奏楽連盟 ・島根県立大田高等学校 ・島根県立瀬摩高等学校 ・大田市立第一中学校 ・大田市立第二中学校 ・大田市立第三中学校 ・大田市立大田西中学校 ・大田ウインドオーケストラ
式典音楽隊（合唱）	117名	○島根県合唱連盟 ・島根県立出雲高等学校 ・島根県立出雲商業高等学校 ・島根県立大社高等学校 ・学校法人水谷学園 出雲北陵高等学校 ・出雲市立第一中学校 ・出雲市立第二中学校 ・出雲市立第三中学校 ・出雲市立浜山中学校 ・出雲市立平田中学校 ・出雲市立大社中学校 ・出雲市立斐川西中学校 ・女声コーラス花音
介添え 三旗掲揚 苗木の贈呈 大会宣言	91名	○緑の少年団（大田市内） ・長久小学校緑の少年団 ・五十猛小学校緑の少年団 ・ハマナス愛護少年団(静間小学校) ・久手小学校緑の少年団 ・朝波小みどりの少年団 ・北三瓶オキナグサ愛護少年団(北三瓶小学校) ・志学小学校緑の少年団 ・池田小学校緑の少年団 ・川合小学校緑の少年団 ・石見銀山緑の少年団(大森小学校) ・高山小学校緑の少年団 ・仁摩小学校緑の少年団 ○日本ボーイスカウト島根連盟 ○ガールスカウト島根県連盟 ○島根県立農林大学校
国歌独唱 プロローグアトラクション 大会テーマ表現 エピローグアトラクション	224名	○田中 美佐子 ○島根県洋舞連盟 ○国立大学法人島根大学 ○公立大学法人島根県立大学 ○柿迫 秀 ○今福座 ○柳楽 毬乃 ○メッセージ発信 ・県民代表(2名) ・松江市立八雲中学校 ・出雲市立佐田中学校 ・大田市立志学中学校 ・邑南町立瑞穂中学校 ○安来節保存会 ○隠岐民謡協会 ○池田田植囃子保存会 ○小屋原田植囃子保存会 ○浜田 真理子
合計	600名	

(4) 式典演出の概要

<プロローグアトラクション>

学ぶ ～森話のはじまりを学ぶ～

scene 1 神話の国・しまね

多くの神話が伝承されている島根県。その中から三瓶山にまつわる神話を取り上げ、植樹祭の会場がまさに神話の舞台であり、今ではすばらしい緑に包まれていることをストーリーテラーの語りと映像で紹介。招待者に植樹祭を身近に感じていただき“しまね緑の神話”の世界へ誘います。



scene 2 太古からつながり循環する森

植樹祭会場周辺は、太古から育まれてきた豊かな森でした。三瓶山の噴火や天災などにより途絶えそうになりながら現代に受け継がれています。脈々とつながる森の息吹、豊かで力強い生命力、緑の美しさを創作ダンスで表現。

また、日本古来の製鉄法である「たたら製鉄」。木炭の火力を用いるこの製鉄法に、木は不可欠です。「伐って・使って・植えて・育てる」。まさに、緑の循環が古来から成立していました。伝統文化を支える島根の森、守り続けた緑の循環をダンスで表現します。



Scene 3 新たな森話のはじまり

古代より出雲大社に用いられる木材を産する場として確保された山が現存する島根県。資源を調達するために繰り返される植林活動や今に伝わる木の循環利用を未来へつなぐ「新たな森話のはじまり」として映像と合唱で表現します。



<記念式典 大会テーマの表現>

誓う ～新たな森話を誓う～

<巨木のモノローグ>

会場近くの三瓶小豆原埋没林、に代表されるように、古代から巨木の森が存在した島根県。出雲国風土記に記載されているように出雲大社の木材を産出するなど、古代から緑の循環も形成されていました。

そこで、古代から繋がる緑の循環を和太鼓のリズムと男性の歌声で表現。和太鼓が自然の鼓動を、伸びのある男性の歌声が巨木の生命力をイメージさせ、物語性のあるオリジナルの歌詞と力強いリズムで巨木が擬人化されたように感じさせる創作パフォーマンスを披露します。



<林業従事者、大工、中学生による誓いのメッセージ発表>

さまざまな形で木や森に関わる人々がリレー形式で緑の循環への思いを誓います。

続いて、ナビゲーターが爽やかなヴァイオリン演奏にのせて、「緑の循環メッセージ」を発表します。



<エピローグアトラクション>

結ぶ ～緑のご縁を結ぶ～

scene 1 伝統芸能による島根らしさの発信

全国から来られた招待者に島根県らしさ、魅力をアピール。島根県らしさの表現として、趣向の異なる県内の伝統芸能を披露。



scene 2 島根で結ぶ緑のご縁 ～テーマソング大合唱～

グランドフィナーレでは、出演者全員が登場しテーマソングを大合唱。最高に盛り上がったところで、緑のご縁を象徴する緑の水引が登場。

ダイナミックに会場を包み込み、グランドフィナーレが決まります。



5. 音響・映像システム計画

(1) 音響

- ① 屋外であるという会場の特性を考慮し、演出内容にふさわしい音響効果が得られるよう、適切な場所にスピーカーを設置します。
- ② 集音マイクは風対策を施し、質の高い音を再現します。



スピーカー

参考例: 第70回全国植樹祭愛知大会

(2) 映像

- ① 大型映像装置を配置し、参加者がどこにいても式典の状況を視認できるようにします。
- ② 大型映像を使って、式典プログラムの構成や演出を効果的に表現します。
- ③ 特別招待者席からも映像が視認できるように、モニターを配備します。



大型映像装置

参考例: 第70回全国植樹祭愛知大会

6. 式典演出準備スケジュール

年度		2019年度												2020年度		
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全体						開催日決定			実施本部設置			実施計画策定				
演出関係	構成・演出		構成・演出内容の決定								式典台本の作成・修正					リハーサル 式典(4月12日) 総合(4月26日) 荒天会場(5月16日) 前日(5月30日) 第71回全国植樹祭(5月31日)
	式典演技	演技内容の決定						演技内容の具体化								
	式典音楽	楽曲検討・決定 楽譜作成・調達														
	映像ソフト	映像構成の検討・素材収集								映像制作						
	音響・映像システム	使用機器・システム計画						システム設計作成・調整								
出演者関係	式典アシスタント	アシスタントの決定・研修・練習														
	介添え	介添え者の検討・決定・資料配付・練習														
	音楽隊・出演者	出演団体の検討・決定 指導者打合せ								個別練習						
資料関係	登壇者行動表	登壇者行動表の作成・調整														
	出演者行動表	出演者行動表の作成・調整														
	リハーサル計画	各リハーサル計画の作成・調整														
	マニュアル	各マニュアルの作成・調整														

1. 基本的な考え方

- (1) 第22回全国植樹祭で植樹し、第15回全国育樹祭で手入れしたクロマツを収穫利用し、その跡地を含む区域に植樹を行うことにより、循環型林業のモデルを実践します。
- (2) 本県の気候風土や立地条件に適した樹種を選定します。
- (3) 植樹用の苗木は、県内で採取した種子等により育成したものを使用します。
- (4) 低コスト造林に有効かつ効果的なコンテナ苗も使用します。

2. お手植え計画

- (1) 天皇皇后両陛下のお手植えは、本県の森林にゆかりのある樹種のうち、それぞれ2種の植樹とします。
- (2) お手植えされた記念樹は、第71回全国植樹祭のシンボルとして大切に管理・育成します。

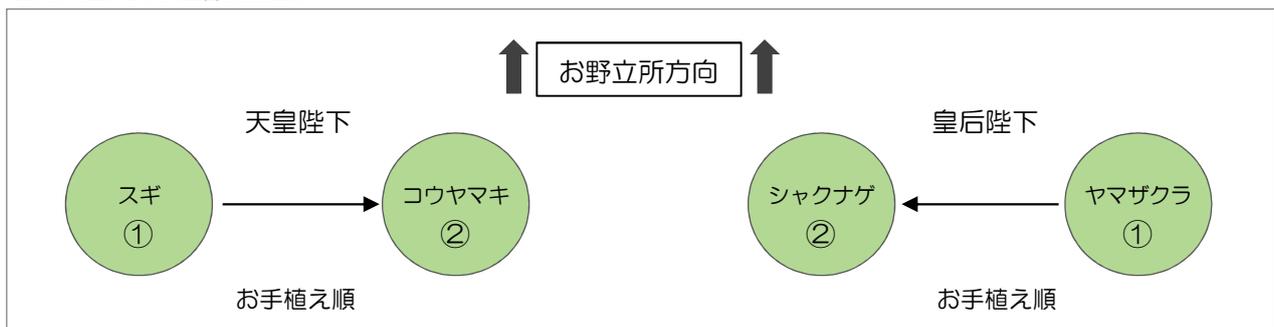
天皇陛下お手植え樹種 2種

樹種		特徴・選定理由など
スギ		<ul style="list-style-type: none"> ・本県の循環型林業の象徴であり、神話（素戔鳴尊）の伝承樹種です。 ・出雲市の出雲大社の心（しんの）御柱（みはしら）、大田市の三瓶小豆原埋没林などで県民にも馴染みの深い樹種です。
コウヤマキ		<ul style="list-style-type: none"> ・神話（素戔鳴尊）の伝承樹種であり、吉賀町六日市に自生林があります。 ・わが国特産の有用樹であり、材質が水気につよいところから風呂桶や橋げた、柱材などに利用されています。

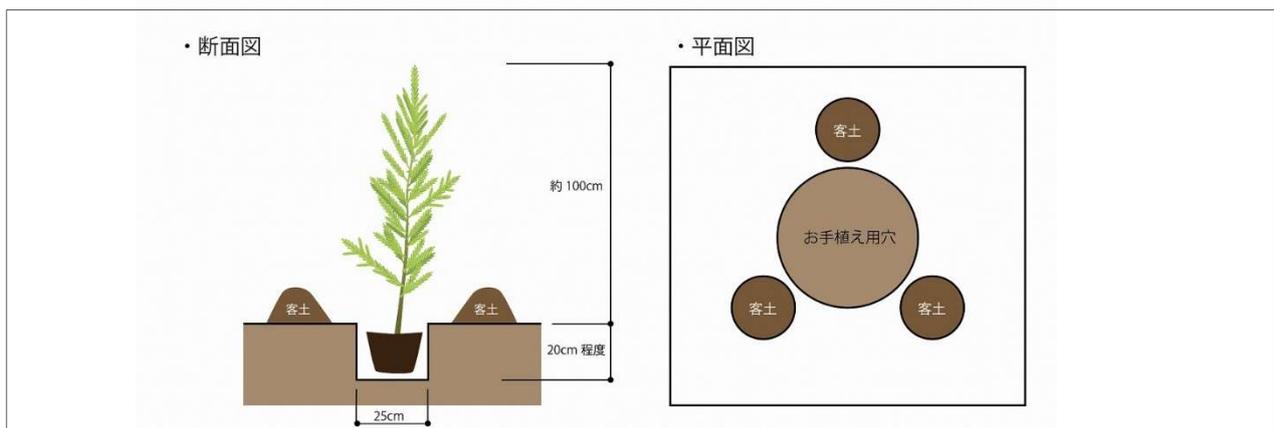
皇后陛下お手植え樹種 2種

樹種		特徴・選定理由など
ヤマザクラ		<ul style="list-style-type: none"> ・本県の主要構成種であり、大田市では「さくらの里」づくり活動も実施されています。 ・材は赤褐色で緻密、香りがよく、建築材や家具材などに利用されています。
シャクナゲ		<ul style="list-style-type: none"> ・咲いている花姿が美しい花木であり、隠岐の島町や美郷町等に自生しています。 ・オキシシャクナゲの自生地は島根県自然環境保全地域に指定され、保護すべき植物として定められています。

<お手植え樹種配置図>



<お手植え標準図>



参考例：第70回全国植樹祭愛知大会

3. お手播き計画

- (1) 天皇皇后両陛下のお手播きは、本県の森林にゆかりのある樹種のうち、お手播き箱へそれぞれ2種の播種とします。
- (2) お手播きされた種子から養成した苗木は、島根県が管理・育成し、県内の公共施設等に配布します。

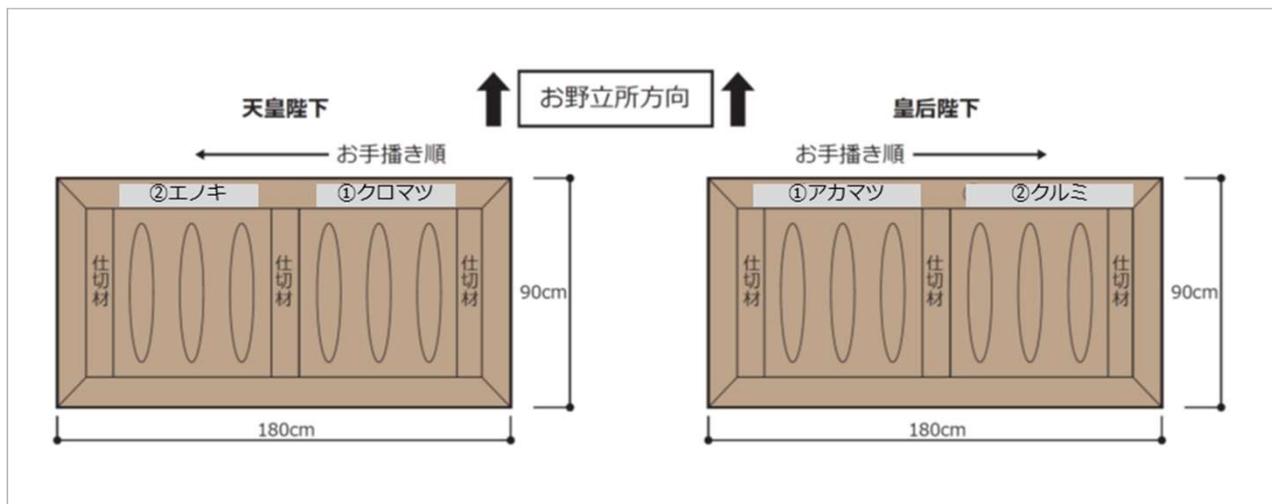
天皇陛下お手播き樹種 2種

樹種		特徴・選定理由など
クロマツ		<ul style="list-style-type: none"> ・島根県の県木で、防風林としてのみならず経済林分としてその利用度は高く、景勝地などで県民に古くから親しまれています。 ・昭和46年に開催された第22回全国植樹祭の植栽樹種となりました。
エノキ		<ul style="list-style-type: none"> ・国蝶オオムラサキの食樹(大田市三瓶町に棲息)です。 ・昔は一里塚や村境など境界によく植えられ、材は白く、器具の柄によく利用されています。

皇后陛下お手播き樹種 2種

樹種		特徴・選定理由など
アカマツ		<ul style="list-style-type: none"> ・本県の主要構成種で、銘木「島根マツ」の代表樹種として主に建築用に県内外へ出荷されてきました。 ・島根県では、平成20年度から松くい虫抵抗性マツ(クロマツ・アカマツ)「くにびき松」の出荷を行っています。
クルミ		<ul style="list-style-type: none"> ・早生樹(成長が早く、収穫までの年数が短い樹種)であり、循環型林業の有望樹種として注目されています。 ・種子は食用となり、材は適度な硬さがあり狂いが少ないことから、フローリング、家具などの用途でよく利用されています。

＜お手播き樹種配置図＞



参考例：第70回全国植樹祭愛知大会

4. 御収穫計画

(1) 天皇陛下の御収穫は、昭和天皇が第22回全国植樹祭でお手植えされ、当時皇太子殿下として第15回全国育樹祭でお手入れされたクロマツの収穫とします。



昭和天皇並びに香淳皇后のお手植えの様子

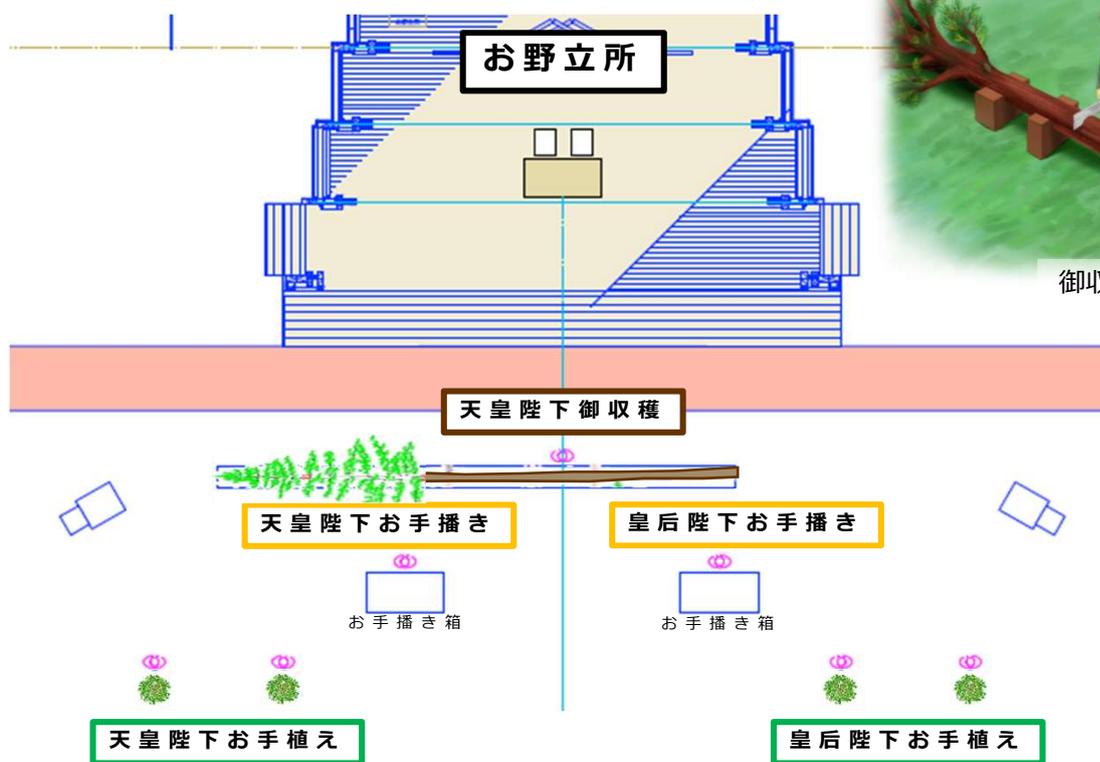


第15回全国育樹祭で当時皇太子殿下としてお手入れされた様子



第22回大会で昭和天皇並びに香淳皇后がお手植えされたクロマツ

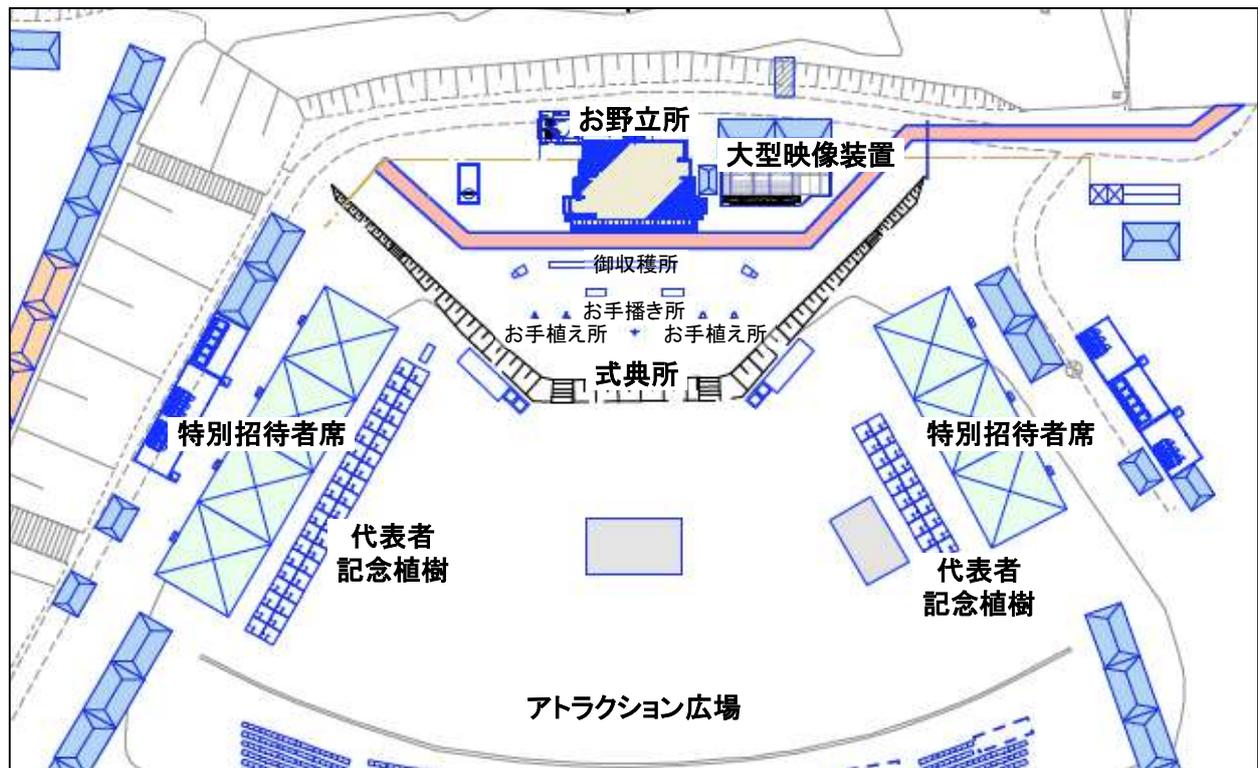
<式典所レイアウト>



5. 代表者記念植樹計画

- (1) 招待者代表は、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に記念植樹を行います。
- (2) 場所は、特別招待者席前でそれぞれ1本ずつ植樹を行います。
- (3) 樹種は、天皇皇后両陛下がお手植えになるコウヤマキ、ヤマザクラなどの樹種とします。

〈お手植え所・お手播き所・御収穫所及び代表者記念植樹配置図〉



参考例: 第70回全国植樹祭愛知大会

6. 招待者記念植樹計画

- (1) 県内外からの招待者が、1人1本以上の記念植樹を行います。
- (2) 招待者は大会当日の式典前後に分かれて植樹を行います。
- (3) 島根県の気候風土や会場特性に適した樹木を植樹します。
- (4) 県内で採取した種子等により育成した苗木を植樹します。
- (5) 小屋原会場には針葉樹・広葉樹、多根会場には広葉樹を植樹します。

<招待者記念植樹樹種>

会場名	本数	主な樹種
小屋原	約8,000本	スギ、クルミ、クヌギ、コナラ、ヤマザクラ、クリ、ウラジロガシ、エノキ、ケヤキ、イロハモミジ、ミズキ、ヤブツバキ、トチノキ、カシワのいずれか
多根		

<招待者記念植樹スケジュール>

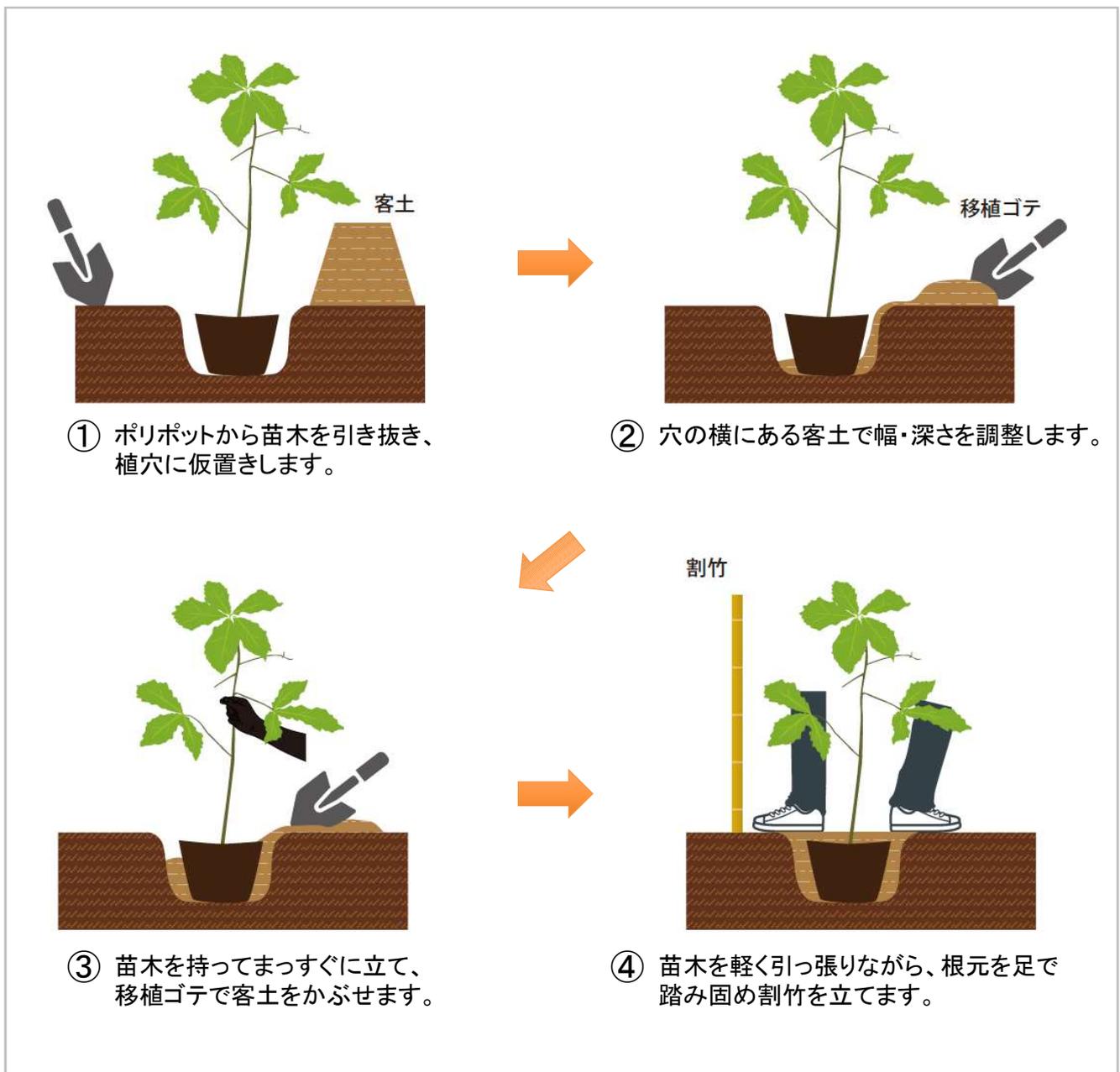
招待者区分	植樹会場	スケジュール	
県外特別・一般招待者	多根	午前植樹	バスで指定宿泊地から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、徒歩で式典会場の入りロゲートへ向かう。
県内特別・一般招待者	小屋原	午後植樹	バスで指定集合地から式典会場に向かい式典に参加。式典終了後、徒歩にて植樹会場に移動する。
		午前植樹	バスで指定集合地から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、再びバスで式典会場の入りロゲートへ向かう。
県内特別・一般招待者	小屋原	午後植樹	バスで指定集合地から式典会場に向かい式典に参加。式典終了後、バスにて植樹会場に移動する。
		午前植樹	バスで指定集合地から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、再びバスで式典会場の入りロゲートへ向かう。

7. 植樹要領

(1) 広葉樹

- ① ポリポットから苗木を引き抜き、植穴に仮置きします。
- ② 苗木のサイズに応じて、苗木の根元と地面の高さが同じになるように客土を入れ、幅・深さを調整します。
- ③ 苗木はまっすぐになるよう手で支えながら、苗木の周りに移植ゴテで客土を入れます。
- ④ 地面から少し盛り上がるまで土をかぶせたら、苗木を軽く引っ張りながら、根元の土を踏み固め割竹を立てます。

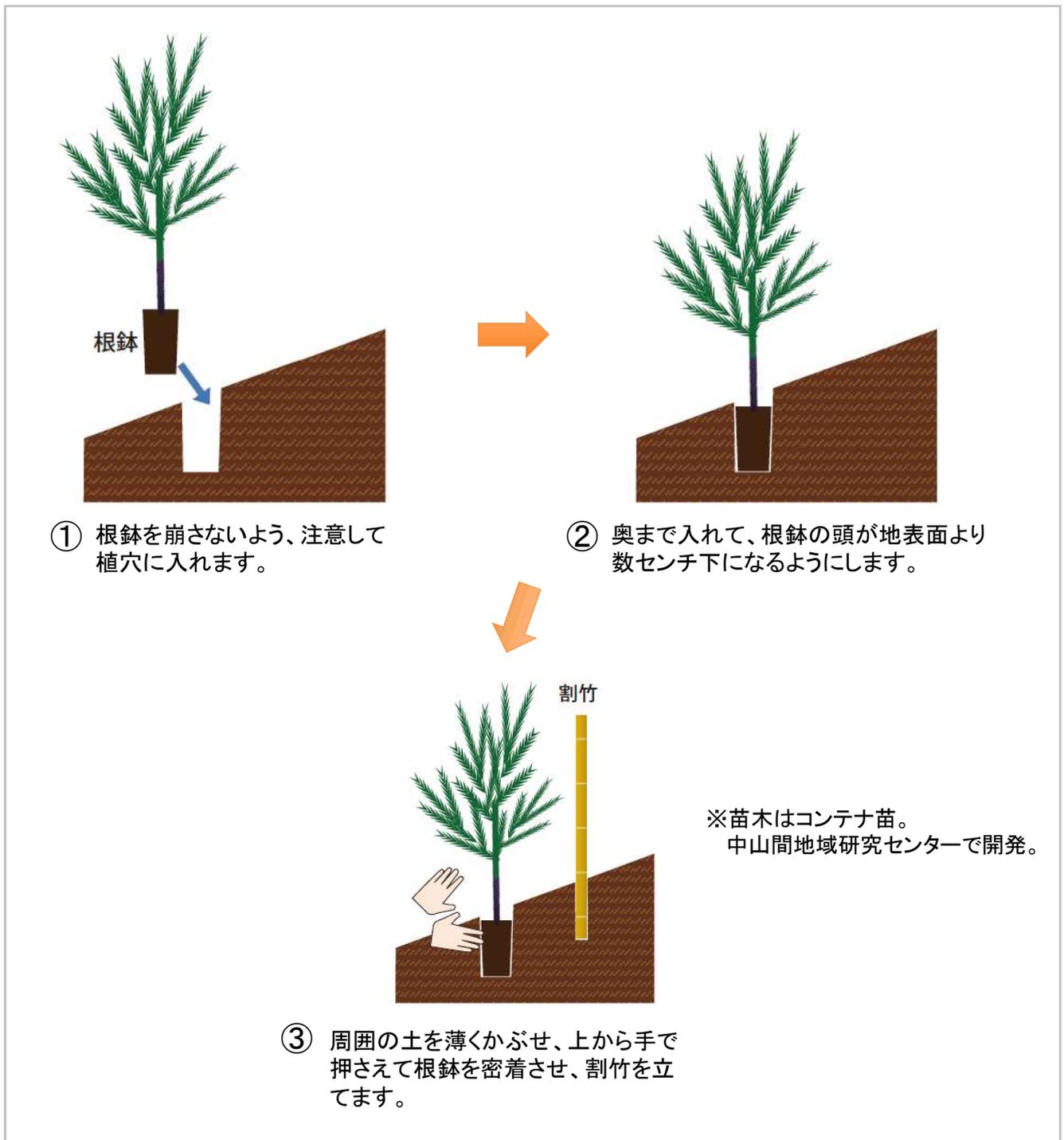
<植樹要領図>



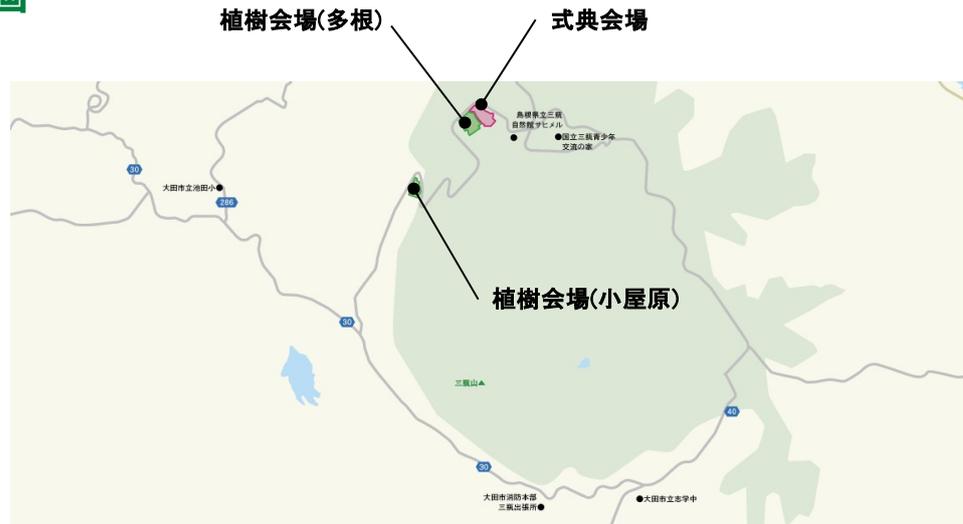
(2) 針葉樹 (スギ)

- ① 苗木は根鉢（根とそれを覆う土）の部分に崩さないよう、注意して植穴に入れます。
- ② 植穴の奥まで入れて、根鉢の頭が地表面より数センチ下になるようにします。
- ③ 周囲の土を薄くかぶせ、上から手で押さえて土と根鉢を密着させ、割竹を立てます。

<植樹要領図>



8. 植樹会場整備計画



(1) 小屋原

【現 状】 昭和46年（1971年）第22回全国植樹祭で植栽したクロマツの収穫跡地

【整備方針】 木材生産に適した樹種（スギ・クヌギ等）を植栽するとともに、景観にも配慮し、林縁にはヤマザクラを中心に植栽。



<整備中>



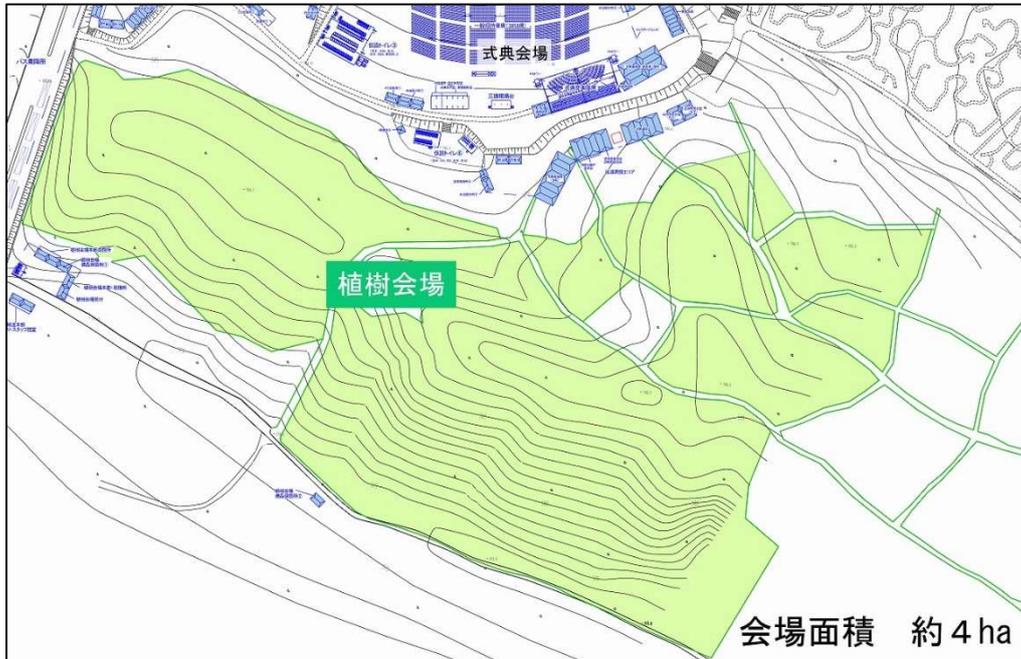
<将来イメージ図>



(2) 多根

【現 状】 式典会場近くにあり、広葉樹が残存する伐採跡地

【整備方針】 林縁は紅葉の鑑賞などで散策を楽しめるゾーンとし、林内はドングリの採種などで森林を採検できるゾーンとする。



<整備中>



<将来イメージ図>



1. 基本的な考え方

- (1) 会場整備については、自然環境に負荷を与えないよう、また経費節減を図ることを基本に整備します。
- (2) 会場に設置する構造物等には、県産木材をできる限り使用します。

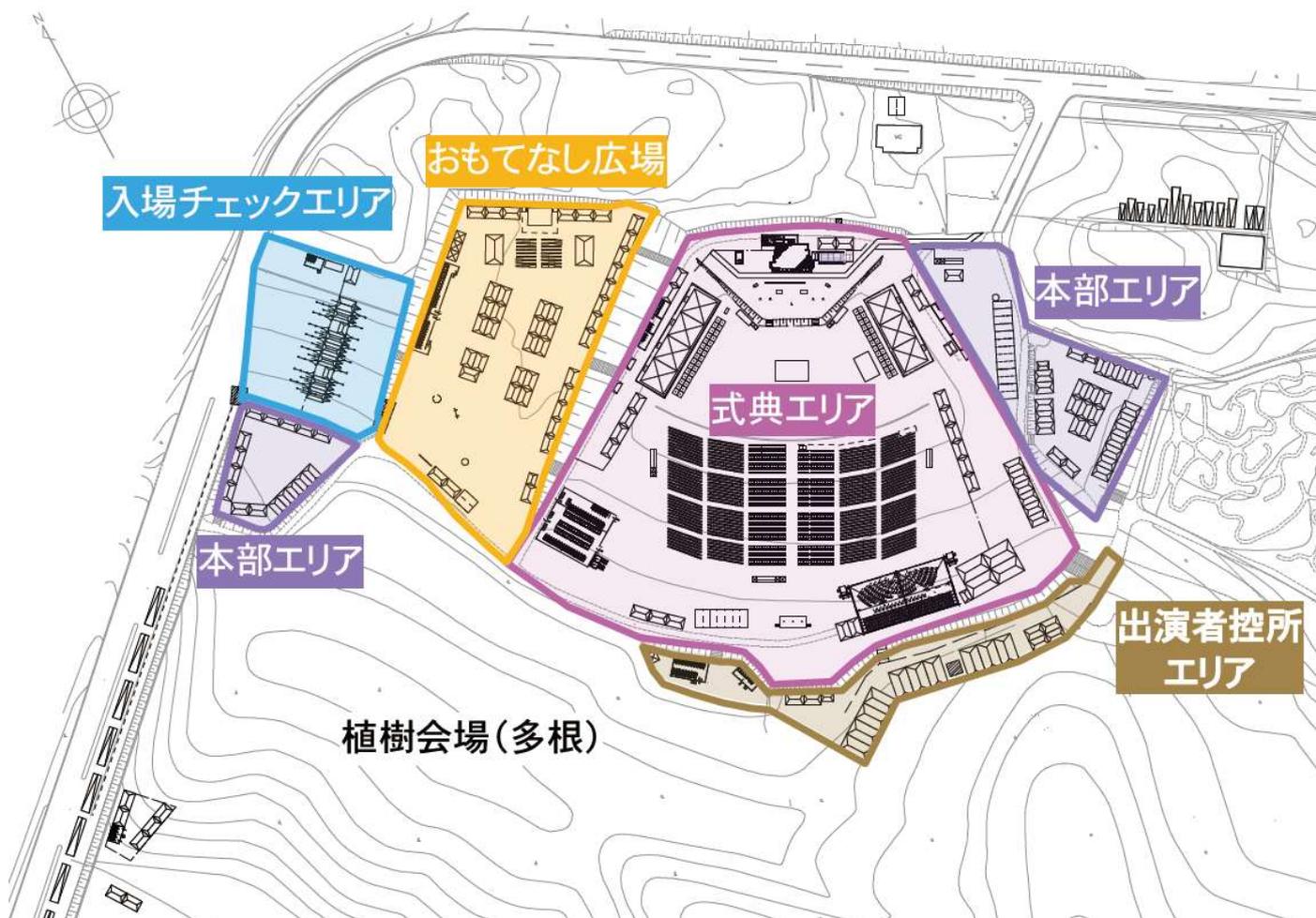
2. 会場整備

- (1) 会場レイアウトや構築物等については、周辺の景観との調和を図ることはもとより、安全性や機能性を考慮し、全ての参加者が安心して快適に参加できるように配慮します。

3. 施設配置計画

(1) 式典会場

会場は、式典エリア、本部エリア、おもてなし広場、入場チェックエリア等にゾーン分けします。



(2) 式典会場のイメージ



(3) 式典会場配置図



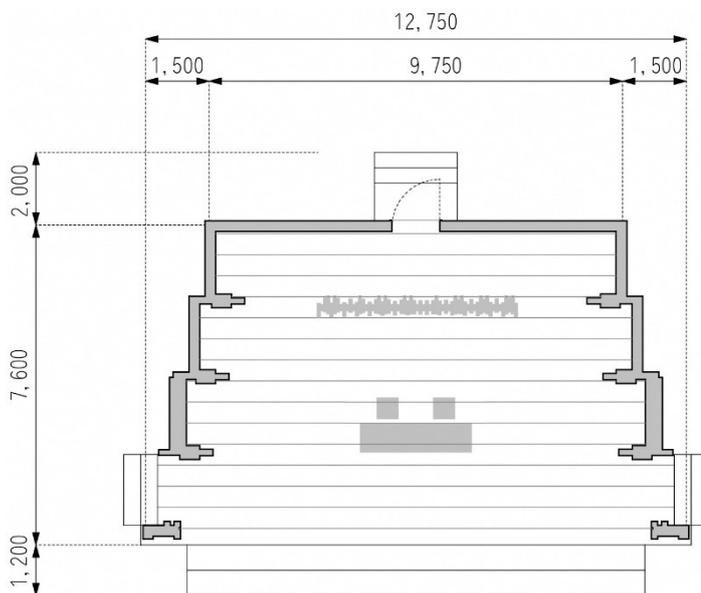
4. 主要施設計画

(1) お野立所

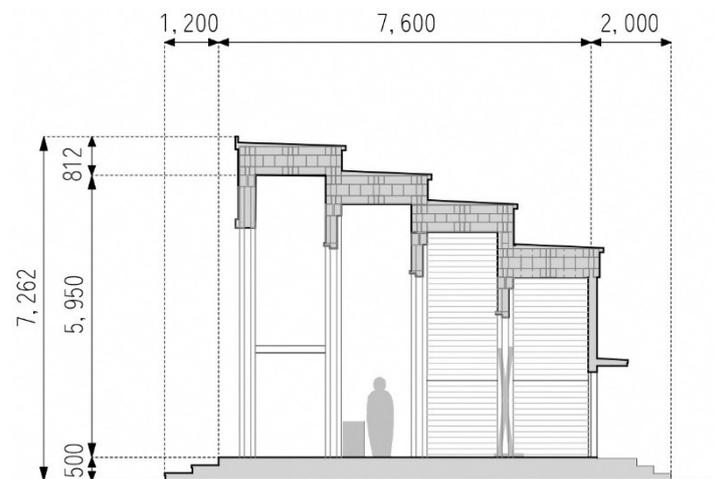
- ① 県内の建築設計事務所から公募し、決定したデザインです。
- ② お野立所のデザインは、非対称的に重なり合うフレームで「人と森との関わり」を表現します。
また、白い壁により、雲がたなびく様子がイメージでき「神話の国島根」を表現します。
- ③ 第22回全国植樹祭で植えられたクロマツを収穫し、お野立所の一部に利用することで循環型林業を象徴的にPRします。
- ④ 県産材を使用した仮設の構造物とし、安全性を重視するとともに経済性も考慮します。
- ⑤ 植樹祭終了後は有効利用します。



【お野立所イメージ】



【平面図】



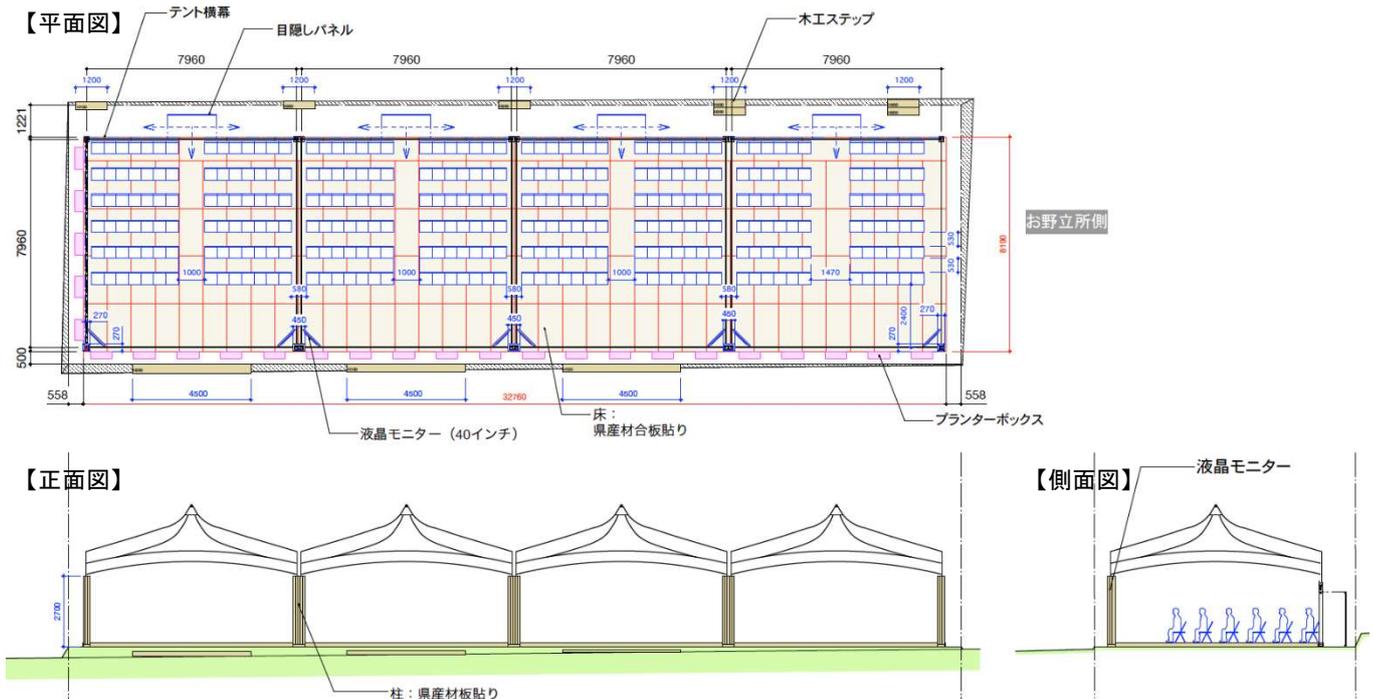
【側面図】

(2) 仮設工作物

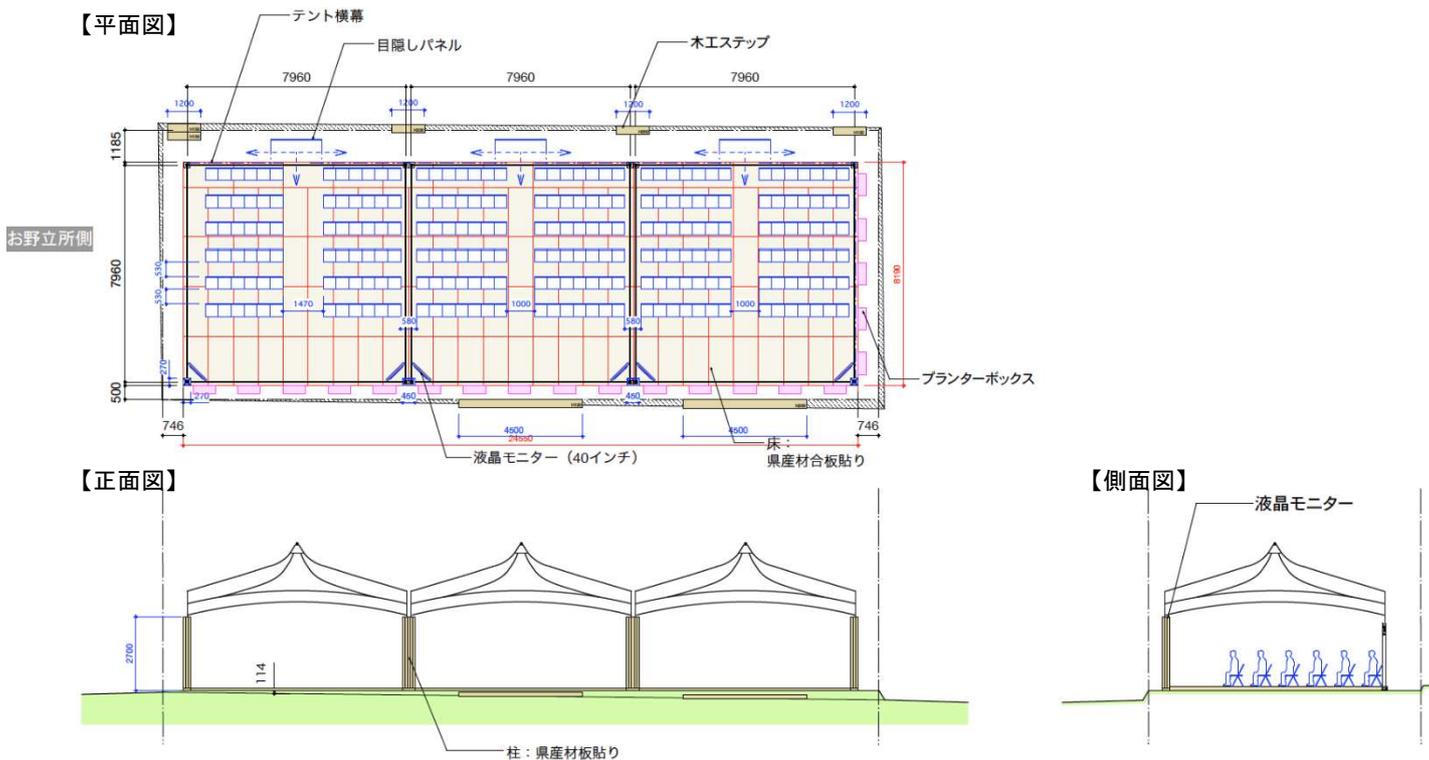
特別招待者や音楽隊席等の仮設工作物には、県産木材を使用し、安全性、経済性及び周辺の景観に配慮したものとします。

①特別招待者席

<特別招待者席（下手側）>

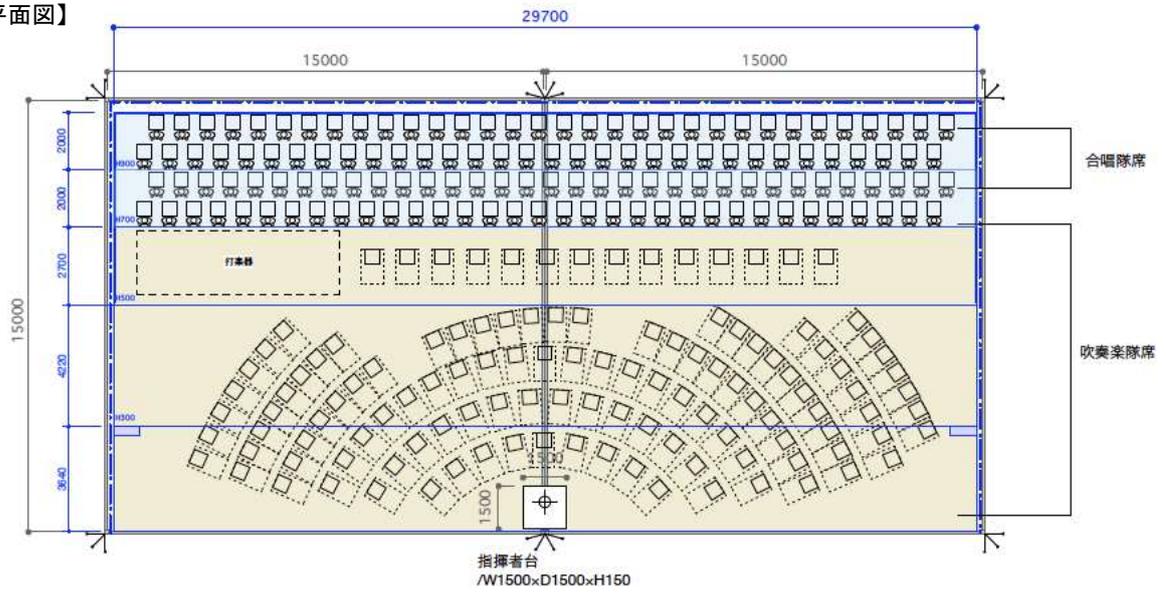


<特別招待者席（上手側）>

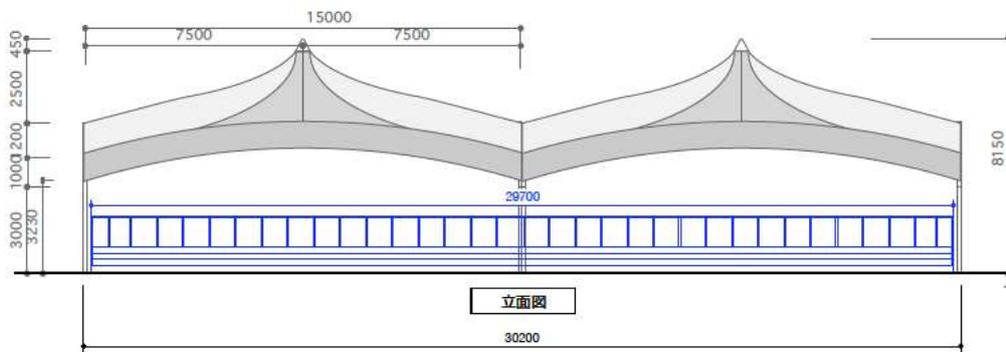


②音楽隊席

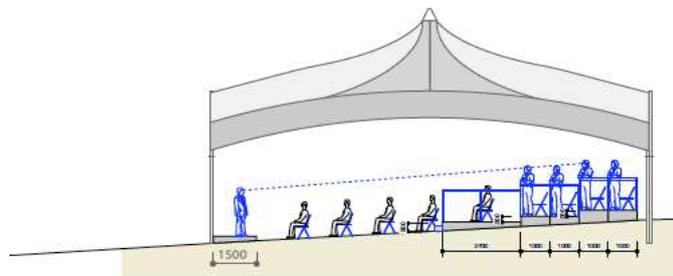
【平面図】



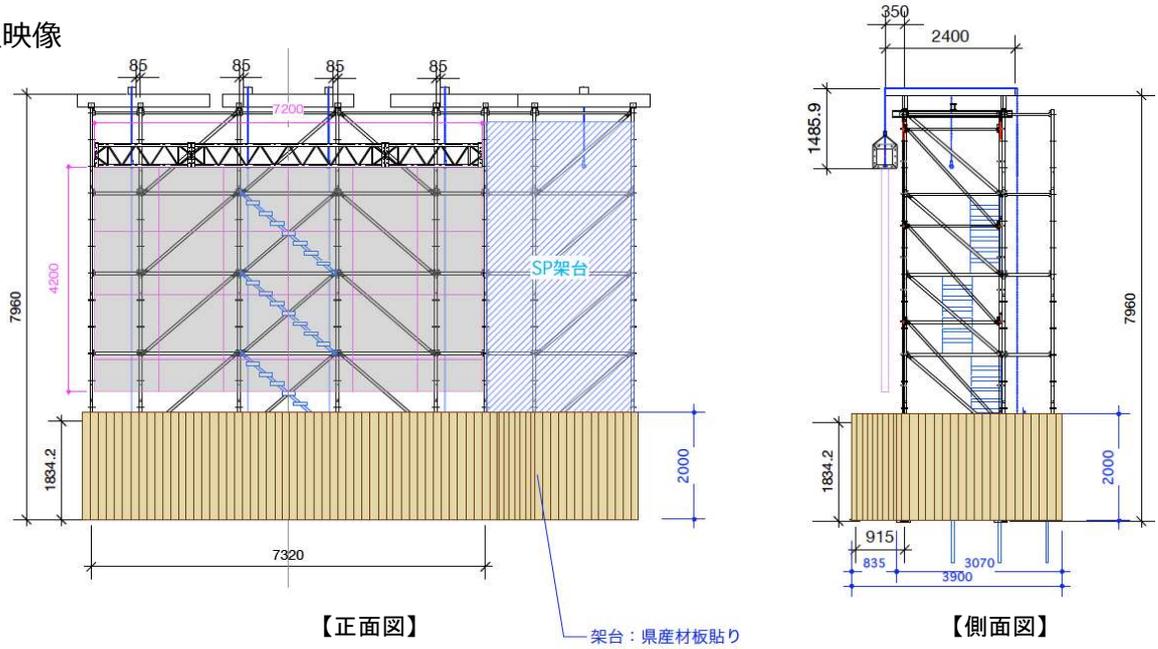
【正面図】



【側面図】



③大型映像



(3) 会場内工作物

会場内の木製工作物は、県産木材を使用し、安全性、経済性及び周辺の景観に配慮したものとします。



参考例：第70回全国植樹祭愛知大会

5. 案内・誘導計画

- (1) 招待者が安全かつスムーズに式典行事や植樹行事などに参加することができ、各施設への移動に支障がないよう、各所に案内サインを設置します。
- (2) 案内サインは、招待者が見やすい色彩、大きさにするとともに、見やすい位置、高さに設置します。また、絵文字を使用する等、招待者が一目で分かるようなサインとします。
- (3) 案内サインの材料には、県産木材のほか、環境に配慮した資材の使用に努めます。

設置区域	サイン種別	内容
会場全体	施設表示	各エリア、施設等の名称を表示。
	誘導	招待者を各エリア、施設等に誘導するサインを動線上に設置。
	注意事項	遵守事項、安全管理事項、手荷物検査の協力要請事項、持ち込み禁止物に関する注意事項等を表示。
式典会場	座席表示	中央特別招待者には、各座席に名札を貼付。 特別招待者入口には座席配置表を設置。 一般招待者席は、バス号車単位で座席を表示。
	会場案内図	会場内の全体図及び現在地の表示。
植樹会場	植樹地誘導	バス号車ごとに決められたブロックへ誘導するサインを動線上に設置。
	植樹位置	バス号車単位に決められた植樹ブロックを表示。
	式典会場誘導	植樹終了後、式典会場へ誘導するサインを招待者動線上に設置。
輸送バス	バス号車	添乗員が招待者を誘導する際、バス号車を表示したプラカードを使用。
	バス誘導	計画輸送バスを会場周辺の動線に従い誘導したり、招待者乗降位置や駐車場へ誘導。

6. 飾花計画

会場周辺の飾花は、県内産の花きを使用し、会場の雰囲気を引き立てるとともに、招待者の安全かつ円滑な動線が確保できるよう配置します。

お野立所や式典所周りは、本県を代表するアジサイ、ボタン等の花きで飾花します。

設置区域	内容
入場チェックエリア周辺	招待者の安全かつ円滑な動線を確保するために、プランターを配置します。
式典会場	各エリアの区分や参加者の動線を明確にするとともに、会場の雰囲気を引き立てるようプランターを配置します。
式典所	式典エリアを明確にするとともに、雰囲気を引き立てるよう鉢花を配置します。
植樹会場	バス乗降所付近にプランターを配置し、招待者の安全かつ円滑な動線を確保します。



参考例：第70回全国植樹祭愛知大会

<花の種類選定>

No.	花名	花色	写真	特徴	設置場所	
					式典所	式典会場及び周辺
1	アジサイ (銀河、茜雲)	青 ピンク		初夏に彩るアジサイ科の花で、島根県では「万華鏡」「美雲」「銀河」「茜雲」の4つのオリジナルアジサイを栽培しています。花言葉は、「辛抱強い愛情」「家族団らん」。	○	
2	ポタン	赤 白		春に開花するポタン科の花で、島根県の花となっています。花言葉は、「風格」「高貴」。	○	
3	ジニア	赤 白 ピンク オレンジ 黄		初夏から秋まで花壇を飾るキク科の花です。百日草とも呼ばれ、開花期間が長く、次々と咲き続けることが特徴です。花言葉は、「幸福」。	○	
4	ガザニア	黄 オレンジ 白		春から秋まで花壇を飾るキク科の花で、鮮やかな花弁が特徴です。花言葉は、「きらびやか」「潔白」。	○	
5	サルビア	赤		夏から秋まで花壇などを彩るシソ科の花で、暑さや乾燥に強く、茎の先端で穂となる赤い花が特徴です。花言葉は、「家族愛」「尊敬」「知恵」。	○	○
6	マリーゴールド	オレンジ 黄 赤		初夏から秋まで花壇などを彩るキク科の花で、黄色やオレンジなど暖色系の花が特徴です。花言葉は「可憐な愛情」「勇者」。	○	○
7	ペチュニア	ピンク 青		春から秋まで花壇などを彩るナス科の花で、花色が豊富であり、成長が早く丈夫であることから多くの人に愛好されています。花言葉は「心の安らぎ」。		○
8	ベゴニア・センパフローレンス	ピンク		初夏から秋まで花壇などを彩るシュウカイドウ科の花で、小柄な草姿に鮮やかな花色が特徴です。花言葉は「幸福な日々」。		○
9	メランポジウム	黄		初夏から秋まで花壇を飾るキク科の花で、明るい黄色の小花を咲かせるのが特徴です。花言葉は、「元気」「小さな親切」。		○

※ジニア、ガザニア、ベゴニア・センパフローレンス、ペチュニア(写真提供:しまね花の郷)

7. 電気・給排水・通信設備計画

(1) 電気設備計画

会場内で使用する電源は、主に仮設電源（ジェネレーター等）を設置し対応します。

(2) 給排水計画

給水は周辺施設内、又は給水タンクを設置し、排水は回収後、適正に処理をします。

分類	種類	内容
給水	飲料水	原則ミネラルウォーターを供給する。
	手洗い水	給水タンク一体型手洗いユニットで対応する。
	トイレ洗浄水	専用液で洗浄する。
排水	汚水・雑排水	タンク貯蔵し、専門業者により回収・処理を行う。

(3) トイレ計画

式典会場、植樹会場、おもてなし広場などに適正な数量を設置するとともに、衛生面にも十分配慮します。

また、混雑を避けるため、状況に応じた誘導を行います。

(4) 通信設備計画

運営を円滑に行うため、携帯電話やトランシーバー等の無線通信機器を適正に配置します。

1. 基本的な考え方

- (1) 全国からの招待者を島根県らしいおもてなしの心でお迎えし、第71回全国植樹祭の開催意義や理念を全国に発信します。
- (2) 全国植樹祭の運営に、企業や団体などから人的な協力の申し出があった場合には、人数や条件を調整のうえ受け入れます。
- (3) 会場へのアクセス道路沿線には、関係市町村や県民の皆様と協力しながら、美化に努め、招待者を歓迎します。

2. 招待計画

(1) 参加者の区分及び規模

参加者区分		人数
県外招待者	○公益社団法人国土緑化推進機構理事長と第71回全国植樹祭島根県実行委員会会長との協議により定める者 ○各都道府県知事が推薦する者	1,150人
県内招待者	○第71回全国植樹祭島根県実行委員会会長が推薦する者 ○島根県の市町村長が推薦する者 ○一般公募による県民	2,850人
小計		4,000人
出演者 実施本部員等	出演者、実施本部員、協力員、運営ボランティア等	2,000人
合計		6,000人

(2) 運営にあたっての参加者の区分

参加者区分	人数	備考	
①中央特別招待者	30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、島根県知事、県議会議長、次期開催県知事等	
②特別招待者	県外特別招待者	220人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者等
	県内特別招待者	200人	県議會議員、市町村長、県緑化関係表彰受賞者、実行委員会委員等
	小計	420人	
③一般招待者	県外一般招待者	900人	各都道府県森林・林業関係者等
	県内一般招待者	2,650人	県内の森林・林業関係者及び一般公募による県民等
	小計	3,550人	
招待者小計(①+②+③)	4,000人		
④出演者 実施本部員等	2,000人	出演者、実施本部員、協力員、運営ボランティア等	
合計(①+②+③+④)	6,000人		

3. 招待者行動計画

(1) 前日スケジュール

時間	全体進行 (人数)	中央 特別招待者 30人	特別招待者		一般招待者	
			県外 220人	県内 200人	県外 900人	県内 2,650人
午前						
午後	レセプション	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center;">駅・空港 等</div> <div style="border: 1px solid purple; padding: 5px; text-align: center;">レセプション受付</div> <div style="border: 1px solid purple; padding: 5px; text-align: center;">レセプション</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center;">指定宿泊地</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">帰宅</div>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; text-align: center;">指定宿泊地 大会参加 受付 夕食等</div>	

(2) 当日スケジュール

時間	全体進行	中央 特別招待者	特別招待者		一般招待者		
			県外	県内	県外	県内	
10:00	おもてなし広場	指定宿泊地	指定宿泊地	指定集合地	指定宿泊地	指定集合地	
		↓	記念植樹				↓
10:00	プロローグ	到着・着席	入場チェック・着席				
			プロローグ				
11:00	式典行事 式典	代表者植樹	式典				
			エピローグ				
12:00	おもてなし広場	昼食	昼食・休憩				
		↓		記念植樹		記念植樹	
		↓	空港	駅・空港 ※視察	指定 集合地等	駅・空港 ※視察	指定 集合地等

(注) 招待者の行動計画は変更となる場合があります。

4. 受付計画

(1) 前日受付

- ① 宿泊される招待者については、大会前日、指定宿泊施設にて1回目の受付を行います。
- ② 指定宿泊施設には招待者専用の受付を設置し、スムーズなチェックインができるようにします。
- ③ 指定宿泊施設での受付業務は、原則、実施本部員が行います。

(2) 当日受付

- ① 全国植樹祭当日の受付は、指定宿泊施設や指定集合地で、計画輸送バスに乗車する前に行います。
- ② IDカードの紛失や記念品等が不足した場合に備え、式典会場入口付近にIDカード再発行所を兼ねた記念品等のストックヤードを設け、そこで不足品の対応を行います。
- ③ 必要に応じて受付業務の補助や配付物の補充等の対応がとれるよう、関係者と連携を図ります。

招待者区分	受付日	受付区分	受付場所	受付業務の内容
中央特別招待者	前日到着時	宿泊受付	指定宿泊施設	①ルームキーの引き渡し ②記念品・大会用品の配付 ③宿泊案内の配付 ④レセプション参加の案内
県外招待者 (中央特別招待者を除く) 及び一部県内招待者	前日到着時	宿泊受付	指定宿泊施設	①本人確認 ②ルームキーの引き渡し ③記念品・大会用品の配付 ④宿泊案内の配付 ⑤レセプション参加の案内(参加者のみ)
	当日①	バス乗車受付	指定宿泊施設	①IDカードの着用確認 ②本人確認
	当日②	入場チェック	式典会場	①手荷物・IDカードの確認 ②入場チェック
県内招待者	当日①	バス乗車受付	指定集合地	①本人確認 ②記念品・大会用品の配付
	当日②	入場チェック	式典会場	①手荷物・IDカードの確認 ②入場チェック

(3) 招待者に配付する物品等

- ① 島根県の森林・林業、地場産業、観光資源、特産品などを全国に情報発信するため、記念品などを配付します。
- ② 記念品の選定にあたっては、県産品の活用を図り、環境に配慮したものとするとともに、県外からの招待者の持ち帰りやすさにも配慮します。
- ③ 式典の円滑な運営のため、IDカードや帽子等を配付します。

<配付物品一覧>

区分	中央特別招待者	特別招待者		一般招待者		出演者等		
		県外	県内	県外	県内	出演者	関係団体等	県職員等
大会用品	式典プログラム	○	○	○	○	○	○	○
	帽子		○	○	○	○	○	○
	大会持込用透明袋	○	○	○	○	○	○	○
	雨合羽	○	○	○	○	○	○	○
	軍手		○	○	○	○		
	簡易座布団				○	○		
記念品等	記念品	○	○	○	○	○	○	
	観光ガイド等	○	○	○	○			

(4) レセプション受付

前日に開催されるレセプションの受付は、下記により行います。

区分	受付場所	受付時間	受付内容
中央特別招待者 特別招待者	会場入口	会場入場前	名簿の確認、会場案内

5. 特別接伴計画

特別接伴が必要と認められる中央特別招待者等には、実施本部員が次の対応をします。

(1) 中央特別招待者等対応

- ① 前日は、県内の主要な駅・空港での出迎えからレセプションの受付、会場内の案内、誘導、宿泊施設への案内など常時サポートします。
- ② 式典当日は、出迎えから受付誘導、会場内の案内、植樹誘導、昼食案内、県内の主要な駅・空港への見送りまで常時サポートします。
- ③ 中央特別招待者等の行動を常時把握できる通信連絡体制を整えます。

6. 作品御覧・レセプション計画

(1) 作品御覧

国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの優秀作品及び第71回全国植樹祭大会ポスター原画作品を展示し、天皇皇后両陛下に御覧いただきます。

- <主 催> 公益社団法人国土緑化推進機構、島根県
- <開 催 日> 令和2年5月30日（土）
- <出 席 者> 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者
第71回全国植樹祭大会ポスター原画作者

(2) レセプション

天皇皇后両陛下の御臨席を賜り、第71回全国植樹祭招待者の来訪を歓迎し、懇親を深める場とします。

- <主 催> 島根県
- <開 催 日> 令和2年5月30日（土）
- <招 待 者>
 - ・中央特別招待者
(国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、次期開催県の滋賀県知事 等)
 - ・県外特別招待者
(県選出国會議員、緑化功労者 等)
 - ・県内特別招待者
(県議會議員、市町村長 等)

<レセプション日程>

日 程	
(1)	招待者受付
(2)	招待者レセプション会場入場
(3)	進行説明(司会者)
(4)	天皇皇后両陛下レセプション会場御到着
(5)	御臨席
(6)	開宴
(7)	主催者あいさつ(島根県知事)
(8)	乾杯(大会会長)
(9)	御歓談
(10)	天皇皇后両陛下レセプション会場御出発
(11)	歓談
(12)	閉宴
(13)	招待者退場

7. 会場内動線計画

(1) 入場時の動線



(2) 退場時の動線

入場時のコースを反対に戻る動線とします。

8. 会場おもてなし計画

- (1) 式典会場に隣接しておもてなし広場を設置します。招待者が安心・安全・快適に過ごせるよう総合案内所や湯茶接待コーナー、救護所、仮設トイレ等を整備します。
- (2) 島根県内の森づくり活動の取組みや観光、特産品等を招待者に広くPRするため、各種展示コーナーや物産販売ブース等を関係団体の協力により運営します。
- (3) おもてなしステージでは、歌や郷土芸能等の演目を実施します。

区分	種類	内容
おもてなし広場	総合案内所	招待者に対する各種案内・情報提供、案内誘導、各種パンフレットの配布、遺失・拾得物の管理。
	おもてなしステージ	歌や郷土芸能等の披露。
	湯茶接待コーナー	招待者に湯茶、ミネラルウォーターを提供。
	販売コーナー	島根県内の特産品や飲食物等の販売。
	展示コーナー	島根県内の森林・林業、観光等を紹介。
	臨時郵便局	記念切手の販売、郵便・宅配サービス。
	救護所	招待者の体調管理・救護。
	休憩コーナー	休憩用テントを設置。



参考例：第70回全国植樹祭愛知大会

<おもてなし広場配置図>



<おもてなし広場展開イメージ>



9. サテライト会場計画

(1) 基本的な考え方

- ① 式典参加者のみならず、多くの県民の方々に第71回全国植樹祭を身近に感じていただくため、松江市内のイオン松江ショッピングセンター、浜田市総合福祉センターと、隠岐の島町内のサンテラス(ショッピングセンター)にサテライト会場を設置し、式典の放映や各種出展ブースを設置します。
- ② 地域や家庭で植樹してもらうため、来場者の方々に苗木を無料で配布します。

<会場位置図>



<サテライト会場イメージ>



参考例: 第70回全国植樹祭愛知大会

10. 昼食計画

(1) 基本的な考え方

- ① 県産食材をふんだんに使用した「島根県らしい」献立とします。
- ② 弁当の製造、輸送、保管、配付にあたっては、衛生・安全面に万全を期すとともに、保冷車で運搬します。
- ③ 箸については、県産木材を利用します。
- ④ 弁当等の容器・包装資材については、環境に十分配慮します。



参考例：第70回全国植樹祭愛知大会

(2) 弁当による昼食

- ① 招待者は式典会場内での昼食（弁当）とします。（中央特別招待者等の一部は、式典会場外に別途設ける会場において催される昼食会に参加していただきます。）
- ② 出演者、実施本部員等は、原則としてそれぞれ業務に従事する場所での昼食（弁当）とします。
- ③ 納入業者は、製造能力及び運搬時間・距離等を検討して選定します。
- ④ 弁当の配付については下表のとおりとし、効率的に配付します。

参加者区分	弁当配付・喫食場所	弁当配付時間
中央特別招待者 (昼食会参加者を除く)	式典エリア (特別招待者席)	エピローグ終了後
特別招待者	式典エリア (特別招待者席)	
一般招待者	式典エリア (一般招待者席)	
出演者等	出演者控所等	随時
実施本部員 等	本部エリア等	

11. 医療・衛生計画

(1) 医療救護所の設置

- ① 式典会場及び植樹会場に救護所を設置し、傷病者の医療救護を行います。
- ② 救護所には、救急用品や休憩用ベッド、A E D等を備えます。
- ③ 消防署や近隣の医療関係機関の協力を得て、緊急時の搬送・受入体制を整えます。

会場	対応内容
式典会場	<ul style="list-style-type: none"> ・救護所2箇所設置 ・救護体制として大田市消防本部に協力を要請
植樹会場 (小屋原・多根)	<ul style="list-style-type: none"> ・救護所1箇所設置 ・救護体制として大田市消防本部に協力を要請



参考例: 第70回全国植樹祭愛知大会

(2) 熱中症対策

- ① 晴天による高温が予想される場合、参加者に対し式典開始前に紙パック飲料等を配付し、熱中症予防に努めます。
- ② 場内放送で湯茶接待所の案内と、こまめな水分補給を呼びかけ、熱中症に対する注意を促します。
- ③ 体調不良者に備えて、医療救護所に空調設備を設置し、経口補水液を備えるなど適切な処置を行える体制を整えます。

(3) 衛生管理

- ① 実施本部の医療救護班が中心となり、保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について関係機関と協議を行い、衛生管理に努めます。
- ② 食の安全を期すため、弁当業者や宿泊施設、会場内の食品提供施設等の指導を徹底します。
- ③ 飲食等により発生する廃棄物の適切な処理を行い、各会場及び周辺環境美化に努めます。

12. 消防・防災・警備計画

(1) 基本的な考え方

- ① 消防、警察、その他関係機関との協力体制を築き、連携を密にして、招待者等の安全を確保し、安心して参加いただけるようにします。
- ② 危機管理については、責任者を明確にし、迅速な初期対応ができるようマニュアル等を作成し、研修を行います。

(2) 消防・防災

- ① 実施本部の消防防災・警備班が中心となり、異常事態の早期発見・通報に努めます。
- ② 会場内は、喫煙所を除き全て禁煙とし、主要施設には消火器を設置します。
- ③ おもてなし広場等の火気使用についても管理を徹底します。
- ④ 避難計画を策定し、実施本部員への周知を図るとともに、安全に避難できる体制を整えます。

<実施体制>

実施本部の消防防災・警備班が中心となり、本部員や協力員等が連携して異常の早期発見・通報に努め、火災及び災害発生時には、速やかに必要な処置を講じることができるよう、緊急体制を整備します。

(3) 警備

- ① 会場内での事件・事故を防止し、円滑な運営を図るため、警察等関係機関と協力して警備を実施します。
- ② 警備員や実施本部員などを配置して、警備や車両の整理、参加者の誘導を行います。
- ③ 式典会場の入場ゲートでは、金属探知機等による持ち物検査や入場者の確認を行います。
- ④ 式典会場、植樹会場、駐車場等では、使用物品等の搬入後、夜間も含め、監視・巡回警備等を行います。

<実施体制>

実施本部員から構成される消防防災・警備班のもと、専門の警備員が協力して警備を実施します。

<実施期間>

警備実施期間並びに重点期間の2段階を設定し、万全の対策を講じます。

- ・警備実施期間：全国植樹祭開催の数日前から全国植樹祭終了まで
- ・警備重点期間：全国植樹祭当日

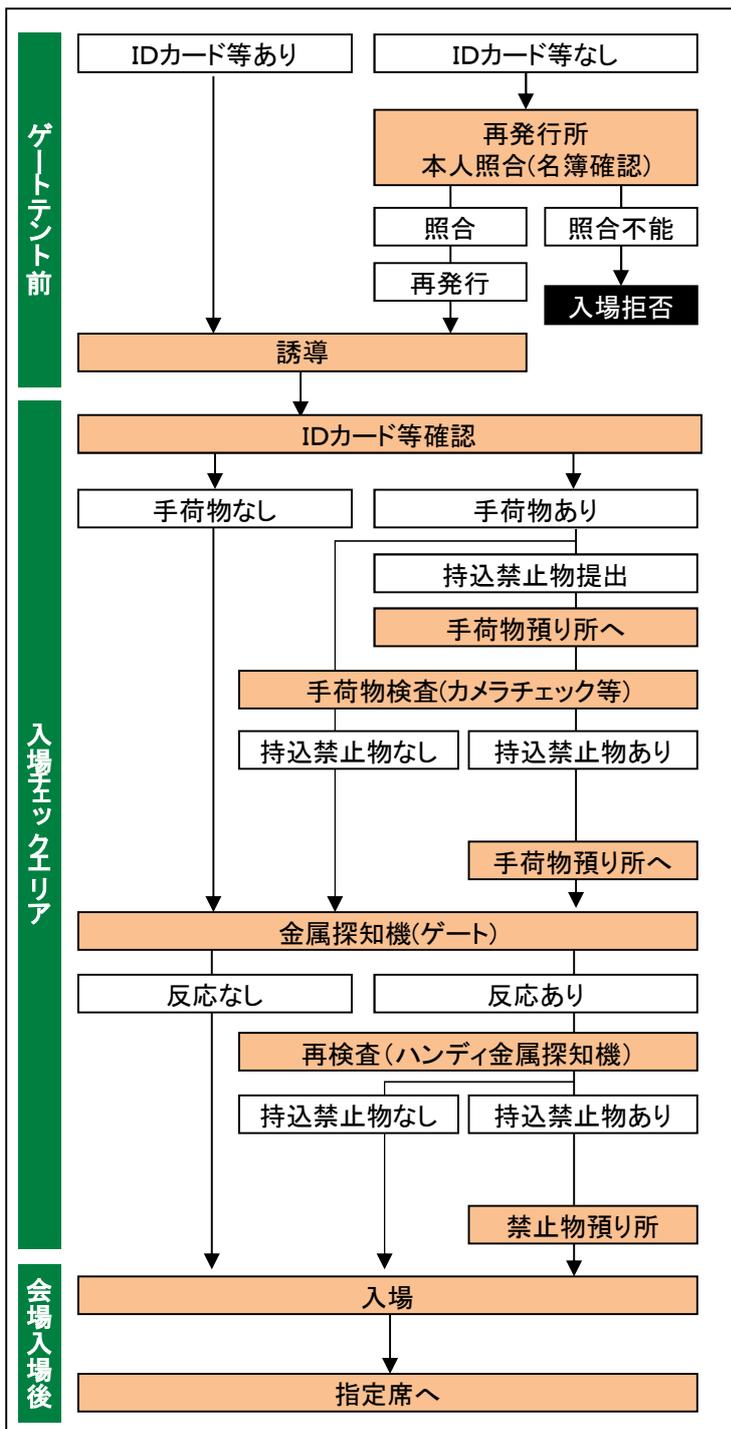
<業務内容>

実施期間	目的	対策
警備実施期間	施設・備品の保全	・式典会場では、施設・備品等の引き渡し、搬入から植樹祭当日まで、専門の警備員による会場の夜間警備を行います。
警備重点期間	雑踏事故対策	・式典会場及び植樹会場では、雑踏事故防止のために会場内の要所に専門の警備員及び実施本部員を配置します。 また、入場チェックエリアや招待者動線での滞留が起こらないように、実施本部員等が適切な招待者誘導を行います。
	交通警備	・式典会場及び植樹会場周辺の主要ルートには、専門の警備員または実施本部員を配置し、歩行者の安全確保を行います。 ・すべての関係車両に大会関係車両証の掲示を義務付けます。
	式典中の自主警備	・式典会場内の招待者席付近を中心に実施本部員を配置し、会場内の秩序維持に努め、円滑な式典運営を実施します。 ・事案発生時には、警察と連携し、適切に対応します。
	立入禁止区域の設定及び侵入防止対策	・式典会場内の本部エリア、出演者控エリア等を招待者の立ち入り禁止区域に設定し、実施本部員の配置・誘導、ローピング、サイン設置等により侵入防止対策を講じます。

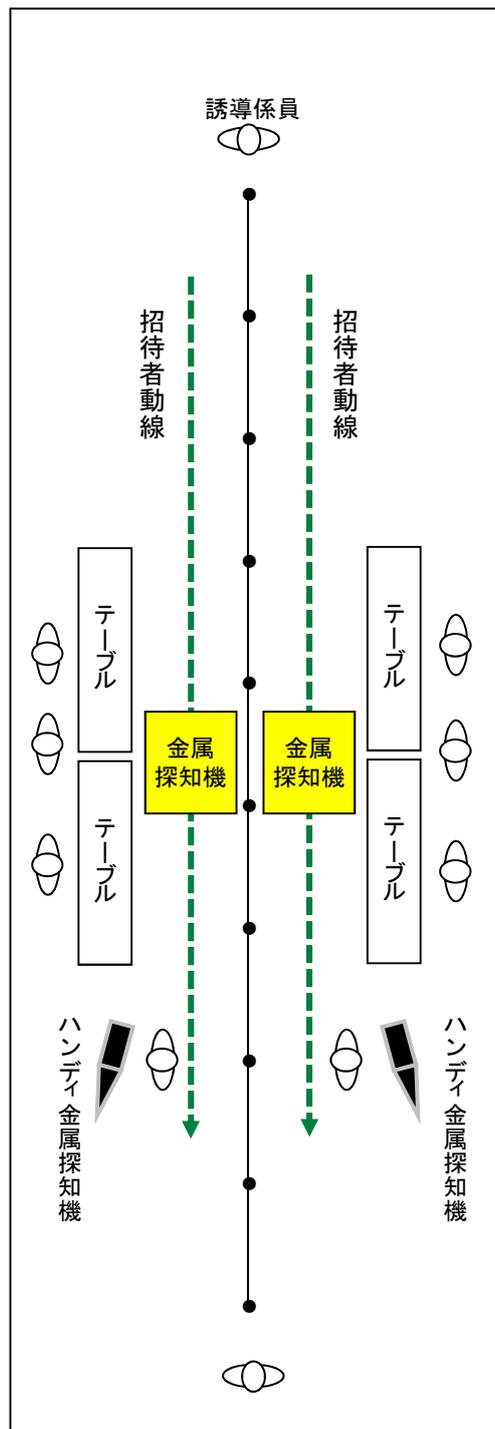
(4) 入場チェック計画

- ① 全国植樹祭当日に会場へ入場する者は、あらかじめ指定された識別用品の着用を義務付けます。
- ② 招待者の手荷物については、指定された透明袋に入れての持ち込みを原則とします。
- ③ 凶器として使用されるおそれのある物品については、持ち込みを禁止します。

《 入場管理の流れ 》



《 金属探知機周辺図 》

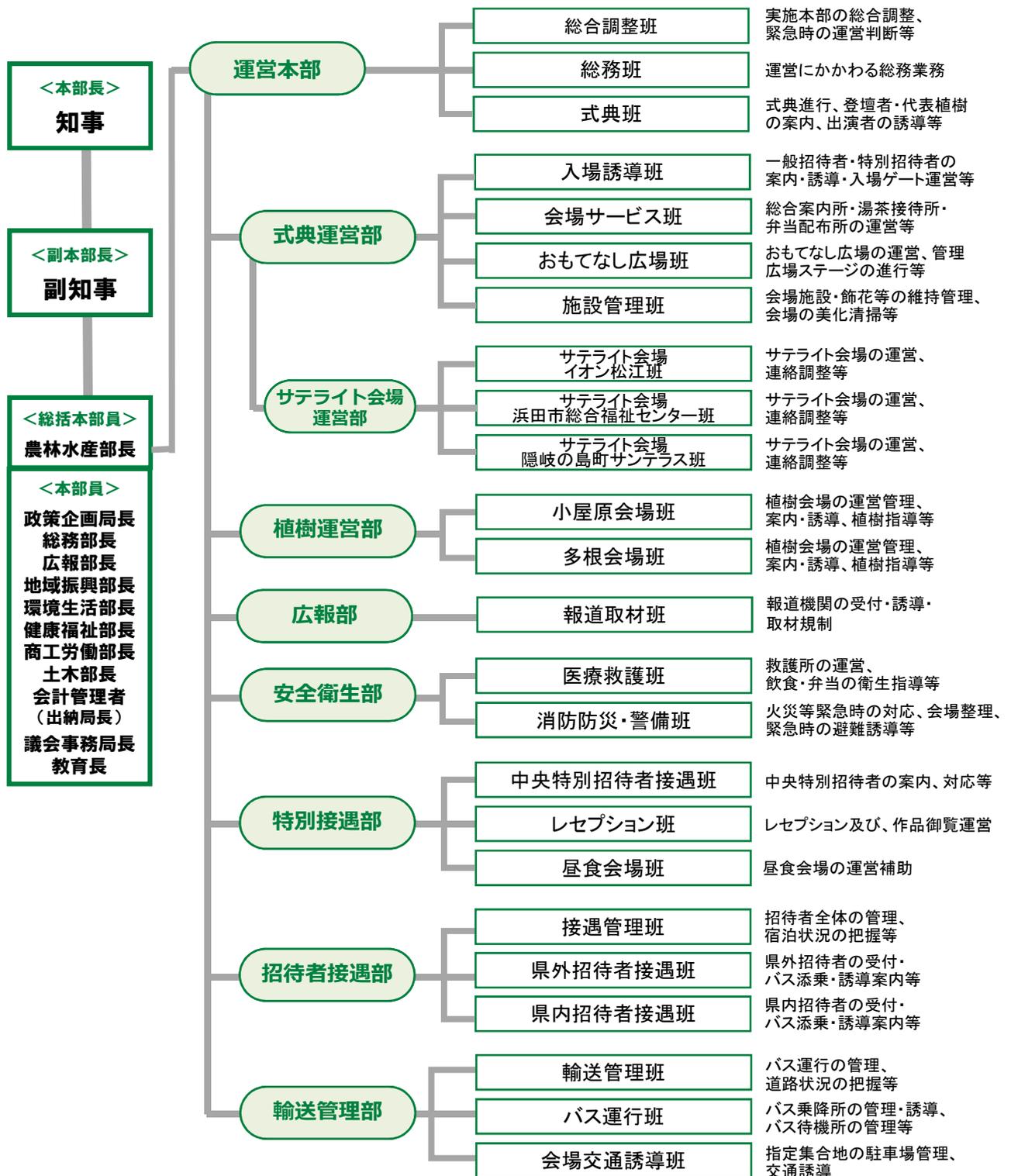


13. 実施本部計画

(1) 基本的な考え方

- ① 円滑な運営を図るための実行組織として、「第71回全国植樹祭島根県実施本部」を設置します。
- ② 実施本部には効率的な要員配置を行うとともに、実施運営の円滑化及び招待者等の安全性や快適性の確保に努めます。

(2) 実施本部体制図



14. 研修・リハーサル計画

(1) 基本的な考え方

- ① 円滑な運営に向けて、実施本部員、協力員の研修を行うほか、出演者を含めたリハーサルを実施します。
- ② 効果的な研修・リハーサルを実施するため、事前に各班毎の運営マニュアルを作成します。
- ③ 研修・リハーサル計画に基づき、実施本部員全員が業務内容を把握できるようにします。

(2) 実施本部員等の研修計画

実施本部員、協力員の研修は、事前の資料配付、リハーサル等への参加等により実施します。

(3) 研修・リハーサル計画

区分	時期	場所	参加者	内容
① 式典合同研修会	令和2年 2月8日(土)	大田市内 施設	介添者等	大会概要・参加内容説明
② 式典リハーサル	令和2年 4月12日(日)	式典会場	出演者(介添者) 実施本部員	式典部分のリハーサル
③ 総合リハーサル	令和2年 4月26日(日)	式典会場 植樹会場	実施本部員 協力員 出演者	全体通しリハーサル、 車両・参加者誘導、接遇研修、 非常時訓練 他
④ 荒天会場リハーサル	令和2年 5月16日(土)	荒天会場	実施本部員	荒天時の式典部分のリハーサル
⑤ 前日リハーサル	令和2年 5月30日(土)	式典会場 植樹会場	実施本部員 協力員 出演者	全体通しリハーサル、 車両・参加者誘導、接遇研修、 非常時訓練 他

(注) 必要に応じ個別にリハーサルを実施する。

15. 雨天時・強風時対応計画

(1) 基本的な考え方

- ① プログラムごとに雨天時等計画を策定し、役割分担の明確化と雨天時等体制へのスムーズな移行を行います。
- ② 式典演出については、天候に応じ各出演団体と協議の上、内容の変更を決定します。
- ③ 式典音楽隊の演奏が不可能な場合は、事前に演奏を収録した音源を使用します。
- ④ 会場警備上、傘の持ち込みができないため、事前に雨合羽を配付します。

(2) 雨天対策

項目	雨天時運営対策要領
服装	<ul style="list-style-type: none"> ・会場警備上、小雨・大雨にかかわらず式典会場及び植樹会場での傘の使用を原則禁止する。 ・招待者の雨具については、大会用品として事前配付する雨合羽の着用を基本とする。 ・招待者に履き慣れた滑りにくい靴での来場を事前に告知する。 ・実施本部員、協力員は、識別備品が透けて見える雨合羽を着用する。 ・円滑な運営を行うために、雨天時の注意・禁止事項を事前に参加者に案内する。
バス乗降・案内誘導	<ul style="list-style-type: none"> ・各招待者の乗降場所は晴天時と同様とする。 ・スムーズな降車を行うため、雨具は会場到着前に余裕をもって着用いただくよう案内する。 ・式典終了後の濡れた雨具の持ち込みは、バス内が滑りやすくなるため、乗車前に回収する。 ・誘導時に使用するプラカードについては、雨天時にも使用可能なものを作成する。
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・一般招待者や式典音楽隊等の座席を雑巾等で拭く。 ・お野立所は、両陛下到着の直前まで床等を養生する。

(3) 強風対策

テントや備品、苗木等が飛ばされないために必要な強風対策を実施します。
また、喫煙所、その他火気を使用する場所の巡回を強化する等の対策を実施します。

1. 基本的な考え方

- (1) 式典前日に、宿泊される招待者（主に県外招待者）は、実行委員会が指定する施設に宿泊することとします。
- (2) 式典当日は、前日宿泊された招待者は宿泊施設から、宿泊されない招待者は最寄りの集落地から、原則として、実行委員会が準備した計画輸送バスにより会場に移動することとします。
- (3) 宿泊施設の収容人数、宿泊料金、道路交通事情、送迎体制、大会後の視察ルートを総合的に勘案し、宿泊・輸送体制を整えます。
- (4) 招待者の安全で円滑な輸送を図るため、運行ルート、輸送スケジュール及び必要な交通規制などについて、関係者で綿密な打ち合わせを行うとともに、添乗員の配置・案内により快適な輸送体制を整えます。
- (5) 会場周辺及びアクセス道路沿線では、地元市町村や関係者、地域住民の参加・協力を得て、美化に努め、招待者を歓迎します。
- (6) 県外招待者向けの視察コースを設定します。本県の魅力を十分伝えられる内容とします。



参考例：第70回全国植樹祭愛知大会

2. 宿泊計画

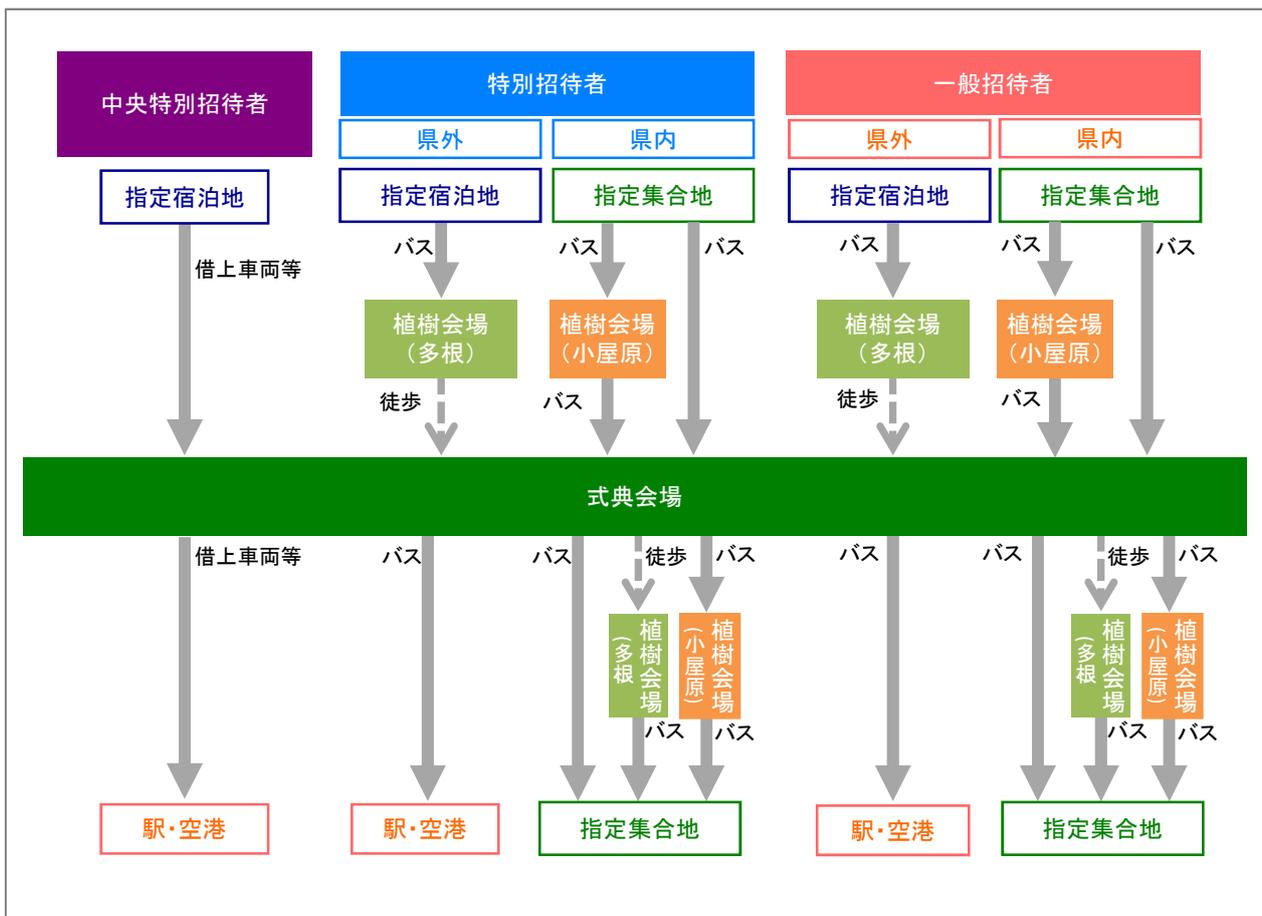
- (1) 式典会場や植樹会場までの道路状況やアクセス等を総合的に鑑みた宿泊エリア・宿泊施設を選定します。
- (2) 施設内または近隣で、安全に計画輸送バスの乗降できる場所が確保された宿泊施設を選定します。
- (3) フロントやロビー等宿泊施設内に専用デスクを設置し、大会用品（大会プログラム、IDカード、帽子等）を円滑かつ確実にお渡しできる体制を整備します。
- (4) 食事メニューについては、島根県の食のPRに努め、県の特産品を積極的に取り入れたメニューを提供します。
- (5) 緊急時に搬送できる救急病院や緊急対応担当者の有無、AED（自動体外式除細動器）の設置状況を事前に把握し、万が一の事故に備えます。

3. 輸送計画

(1) 輸送方針

- ① 参加者は計画輸送バスで移動することを原則とし、参加者区分ごとに輸送計画を作成します。
- ② 参加者の安全で円滑な輸送を行うため、バス事業者、関係機関と協議・検討の上、運行ルートを決めます。
- ③ 式典当日の道路混雑等のリスクを想定し、極力移動時間がかからない最短ルートを設定します。
- ④ 交通事故や渋滞等の不測の事態に備え、代替ルートや迂回ルートの設定を行います。

<輸送フロー案>



(2) 関係車両一覧

参加者区分	輸送手段	台数	同乗者	備考
中央特別招待者	借上車等	30台	接待員	出迎え・添乗・誘導・見送り
県外招待者	計画輸送バス	160台	添乗員	各種案内・誘導
県内招待者	計画輸送バス		添乗員	各種案内・誘導
本部員、協力員	計画輸送バス		担当班員等	



参考例：第70回全国植樹祭愛知大会

(3) 駐車場計画

駐車場は、道路交通事情も考慮し、会場の近隣地または近傍地から選定し確保します。



- (注) 西の原…招待者バス調整地
 東の原…招待者バス待機所
 フラワーバレー…招待者及びスタッフ等バス待機所

4. 運行管理体制・緊急時対応

- (1) 式典会場周辺に輸送管理本部を設置し、運行状況を一元的に管理します。
- (2) 車両の運行状況を把握し、安全で円滑な運行体制を実現するため、輸送ルート上に休憩所、チェックポイント、バス運行調整地を設け、携帯電話や無線機等により、リアルタイムの連絡体制を確保します。

場 所	内 容
休憩所	輸送時間によっては、休憩所でトイレ休憩をとります。
チェックポイント	通過車両を確認し、運行状況の把握、緊急時の対応等を行います。
バス運行調整地	会場周辺の渋滞の防止を図ります。

- (3) 指定集合地
 - ① 県内招待者の集合地として、県の合同庁舎・市町村役場等を指定し、効率的な輸送を行います。
 - ② 選定にあたっては、立地条件、バス・乗用車の駐車スペースの確保、トイレ・配付物の設置スペースなどを考慮し、ゆとりのある場所を確保します。

5. 道路交通対策

- (1) 会場周辺の道路や参加者の輸送ルートにあたる道路については、事前に道路管理者と協議の上、道路工事や道路占用許可等の必要な措置を講じます。
- (2) 参加者及び周辺住民等の交通の安全の確保と車両の円滑な運行を行うため、関係機関の協力を得て、交通整理、交通規制等を実施します。

1. 基本的な考え方

- (1) 暴風雨、集中豪雨等の荒天に見舞われ、晴天会場での式典実施が困難であると判断した場合は、荒天会場で式典を実施します。
- (2) 荒天会場での式典の実施決定は、開催日の1週間前から随時情報収集や関係機関との協議を実施し、その判断を行うものとします。
- (3) 荒天会場での実施決定に備え、関係機関と万全の連絡体制を構築し、円滑な実施運営を行います。

2. 開催会場

大田市民会館（島根県大田市大田町大田イ128）



3. 参加者一覧

参加者区分	人数	備考
①中央特別招待者	30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、島根県知事、県議会議員、次期開催県知事等
②特別招待者	420人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者等、県議会議員、市町村長、実行委員会委員等
③一般招待者	250人	次期開催県参加者、林業後継者大会参加者等
招待者小計(①+②+③)	700人	
④本部員・協力員	200人	
合計(①+②+③+④)	900人	

4. 荒天時運営計画

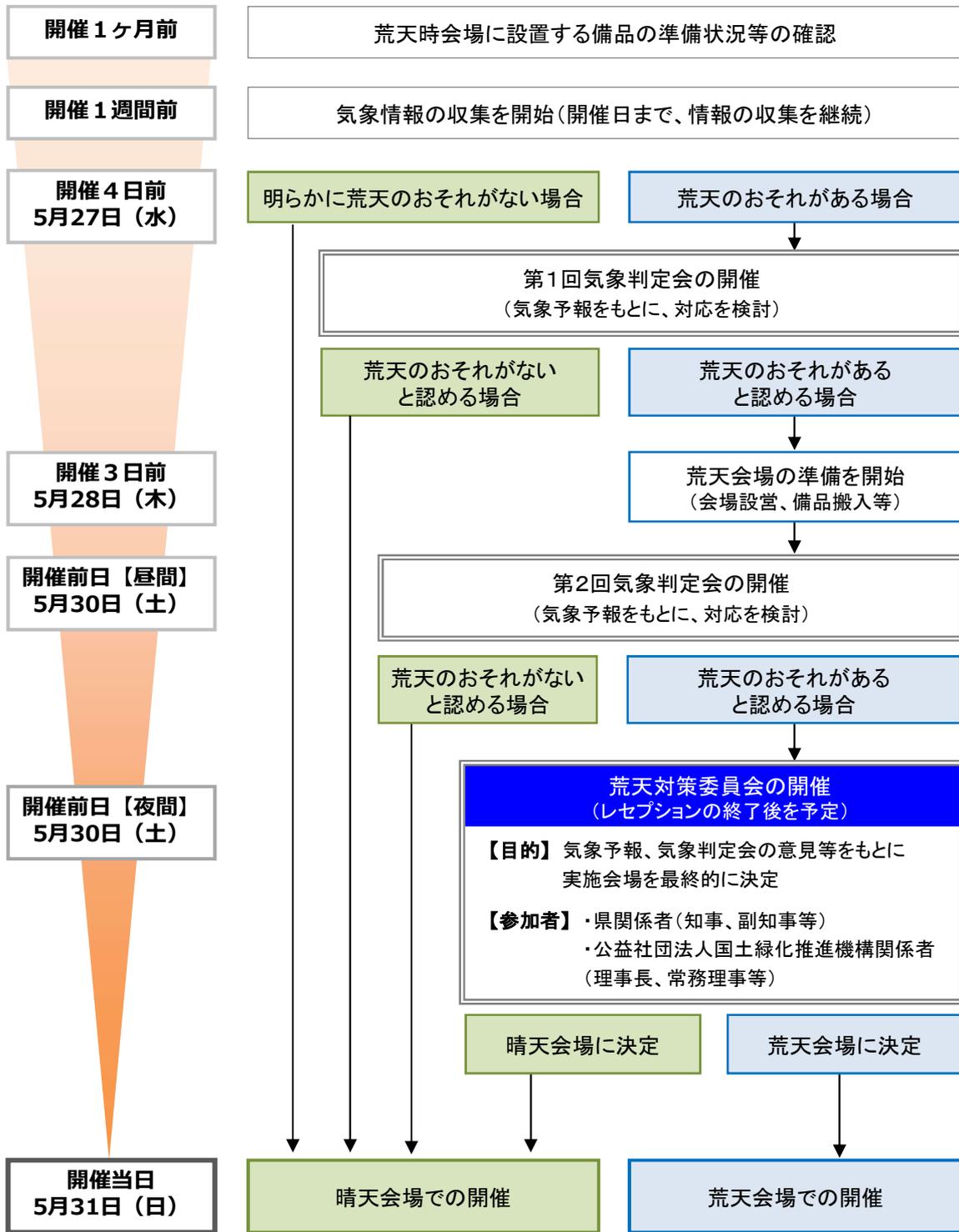
(1) 式典計画

- ① 晴天時の3部構成を式典のみとし、大会テーマの表現、代表者記念植樹を除いた構成とします。
- ② 音楽は事前に収録した演奏音源とCD等を使用します。
- ③ 式典の時間は、50分程度とします。

(2) 式典プログラム

時間	進行
30分程度	<招待者等入場> ・国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、島根県知事、次期開催県知事、開催市長等
50分程度	<式典> ・天皇皇后両陛下御到着 ・開会のことば ・国歌斉唱 ・主催者挨拶 ・天皇陛下のおことば ・表彰 ・苗木の贈呈 ・天皇皇后両陛下の御収穫・お手植え・お手播き ・大会宣言 ・リレーセレモニー ・閉会のことば ・天皇皇后両陛下御出発
	<招待者退場>

(3) 荒天時への切替システム



(注)天候の急変等により、期日等を変更する場合があります。

(4) 荒天時の招待者への対応

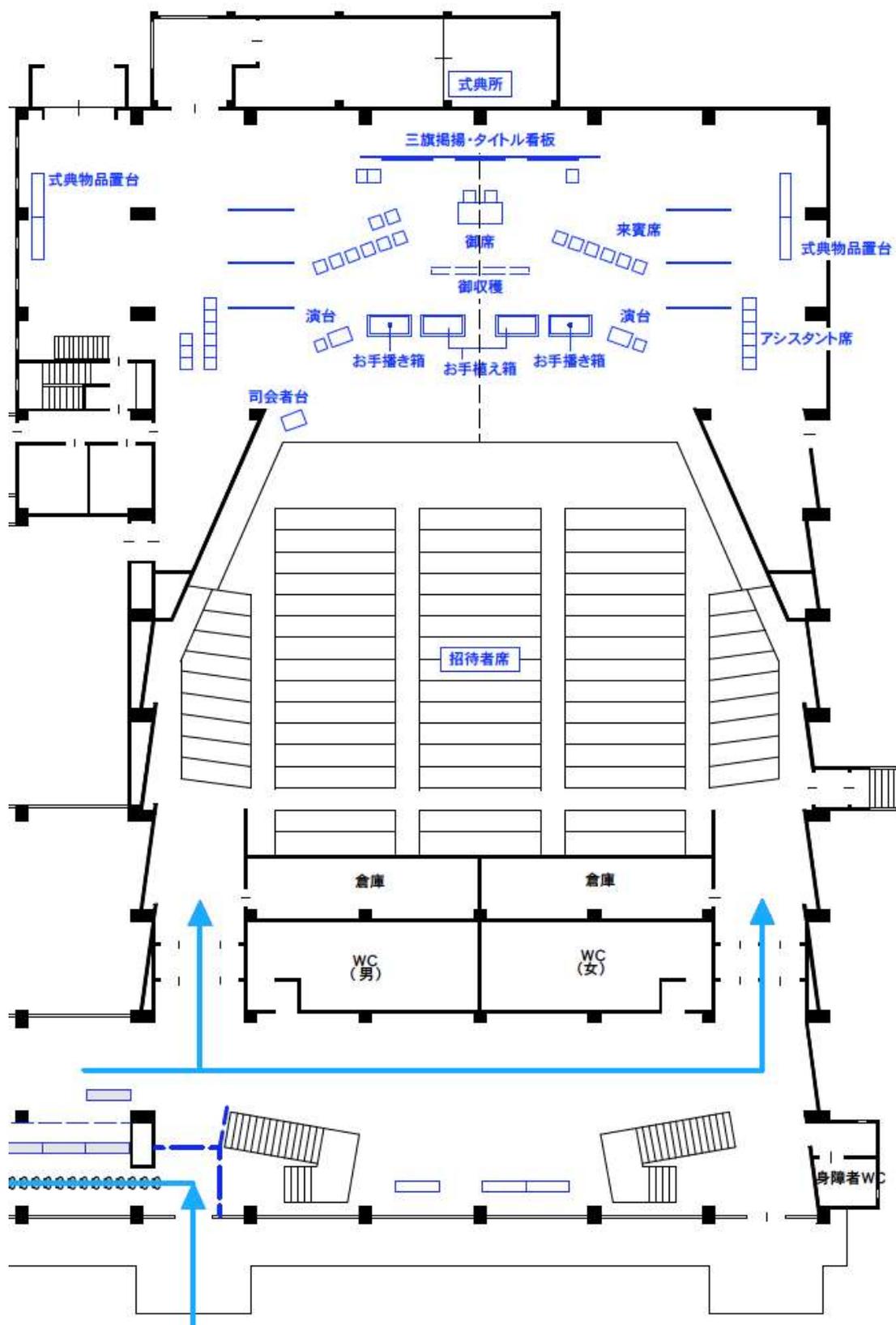
- ① 当日の早朝にマスメディアやホームページ等を活用して、荒天会場に変更になったことを広報します。
- ② 荒天会場となった場合に不参加となる招待者に対しては、その旨を案内状等に明記します。

招待者区分	荒天時運営対応要領
中央特別招待者	<ul style="list-style-type: none"> ・荒天時出発時間に変更し、晴天時同様、借上車両等にて移動する。 ・行幸啓参加者は、昼食会場にて昼食をとる。 ・行幸啓に参加しない招待者には、荒天会場内にて弁当を配付する。
県外特別招待者	<ul style="list-style-type: none"> ・荒天時出発時間に変更し、晴天時同様、乗車受付を行い、計画輸送バスで移動する。 ・荒天会場内にて弁当を配付する。 ・昼食後、最寄りの駅等に輸送する。
県内特別招待者	<ul style="list-style-type: none"> ・晴天時と同様の出発時刻に指定集合地に参集し、晴天時同様、乗車受付を行い、計画輸送バスで移動する。 ・荒天会場内にて弁当を配付する。 ・昼食後、指定集合地に輸送する。
県外一般招待者	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設にて、荒天会場での開催が決定した旨を伝える。 ・最寄りの駅等に輸送する。 ・参加対象者は、県外特別招待者と同様の対応とする。
県内一般招待者	<ul style="list-style-type: none"> ・指定集合地にて、荒天会場での開催が決定した旨を伝える。 ・記念品等を配付する。 ・参加対象者は、県内特別招待者と同様の対応とする。

(5) 招待者行動スケジュール

時間	全体進行	中央 特別招待者	特別・一般招待者	
	(人数)		県外	県内
		30人	670人	
6:00				
7:00				指定集合地
8:00			指定宿泊地	
9:00	招待者入場開始	指定宿泊地	到着後、順次入場チェック	
10:00		到着		
		着席		
11:00	式典	式典		
12:00			昼食	
13:00		昼食 (昼食会場)		
		順次出発		
14:00		駅・空港	駅・空港	指定集合地

(6) 荒天会場平面図



1. 基本的な考え方

第71回全国植樹祭の開催機運の醸成と、大会の開催理念や基本方針を県民に広く周知啓発するため、記念事業等を実施します。

2. 記念事業の内容

記念事業は、全国植樹祭の開催理念を実現するため、島根県実行委員会が主催する事業とします。

(1) 大会1年前記念イベント

第71回全国植樹祭の開催1年前の時期に、大会の周知、開催機運の醸成を図るため開催します。

- <開催日> 平成31年4月29日（月）
- <場 所> ふるさと森林公園（松江市宍道町）
- <内 容> ステージイベント、記念植樹、森づくり活動のPR



(2) カウントダウンイベント

開催日決定を受けて、全国植樹祭開催機運を盛り上げるため、開催日までのカウントダウンイベントを実施します。

① 200日前カウントダウンイベント

- <開催日> 令和元年11月13日（水）
- <場 所> 島根県庁中庭
- <内 容> カウントダウンボード除幕、植樹祭PRなど



② 200日前記念イベント

- <開催日> 令和元年11月17日（日）
- <場 所> イオンタウン大田店（大田市）
- <内 容> ステージイベント、PRブースの出展など



③ 100日前記念イベント「しまね GREEN & WOODフェア2020」

- <開催日> 令和2年2月23日（日）
- <場 所> くにびきメッセ（松江市）
- <内 容> ステージイベント、活動PR展示など

(3) 苗木のスクールステイ

森林や身近な緑への関心を高めるとともに、森林や自然環境に対する理解を深め、島根県の豊かな森林を将来に引き継ぐことを目的として、全国植樹祭や植樹祭関連イベント等で植樹する苗木を、県内57の保育園、小中高等学校で育成します。

- <時 期> 平成29年10月～令和元年11月
- <内 容> 県民参加による苗木の育成



(4) 「木製地球儀」展示

第71回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、「木製地球儀」を県内各地で展示します。



(5) 記録誌の発行、記録映像の作成

第71回全国植樹祭の式典行事、植樹行事をはじめ、各種記念事業などの取組みを、記録誌や記録映像等にまとめ、関係機関等に配付します。

3. 関連事業の内容

関連事業は、関連団体が主催する事業のうち、全国植樹祭の開催理念と関連があり、互いに連携すべき事業とします。

(1) 第49回全国林業後継者大会

全国の林業後継者が一堂に会し、林業の振興と森づくりの重要性について意見を交わし、林業を担う人たちが、希望や誇りを持って働き続けられる林業の魅力为全国に発信します。

- <開催日> 令和2年5月30日（土）（第71回全国植樹祭の前日）
- <場 所> 石央文化ホール（浜田市）
- <内 容> 森林・林業関係者の活動発表、パネルディスカッション等



(2) 各地域で実施される緑化関連イベント

しまねの森づくり活動等において、開催理念の普及・啓発や情報発信等を行います。

- <場 所> 県内各地
- <内 容> 県民による植樹や森林保全活動、木工体験教室等

1. 基本的な考え方

- (1) 広報活動や企業協賛を通じて、大会の開催理念、基本方針、内容等について広くPRするとともに、開催への機運を高めていきます。
- (2) 広報媒体の特性を活かした情報発信により、効果的な広報活動を実施します。
- (3) 大会テーマ、シンボルマーク、大会ポスター原画及びテーマソングを活用し、第71回全国植樹祭の開催を県内外に広報します。

2. 広報計画

(1) インターネットの活用

第71回全国植樹祭の公式ホームページ及びFacebookを開設し、各種イベントや県内の森づくり等に関する情報を積極的に発信します。また、各種問い合わせや申し込みなどについても、インターネットを効率的に活用します。

(2) 公共広報等の活用

県及び各市町村の広報や広報番組等の公共広報媒体を有効活用し、広く県民に向けて、きめ細かい情報提供とPR活動を実施します。

(3) マスメディアの活用

全国植樹祭、記念事業等に関する情報が広く発信されるよう、テレビ、ラジオ、新聞等、各報道機関への情報提供を積極的に行います。

(4) 企業・団体との連携

シンボルマーク等の使用を広く呼びかけるなど、県内を中心とした企業・団体の支援協力による広報活動を通じ、全国植樹祭の周知を図ります。

(5) 植樹祭情報誌の発行

「全国植樹祭だより」を発行し、開催準備状況や記念事業の実施状況等について情報発信します。

(6) PRグッズの作成・配布

シンボルマーク等を用いた各種PRグッズを作成・配布し、開催の周知と機運の醸成を図ります。



3. 協賛計画

- (1) 第71回全国植樹祭を一過性のイベントとして終わらせることなく、これを契機として循環型林業の実践や県民参加の森づくりのさらなる拡がりへと繋げていくため、企業や団体等に対し、広く支援を求めています。
- (2) 企業協賛等は、第71回全国植樹祭会場や公式ホームページ、記録誌等で協賛者名が掲載される等、様々な特典が得られます。

○資金協賛

植樹祭行事の実施に要する資金の提供。

○物品協賛

植樹祭行事の実施に要する物品の提供。

○その他

車両・機器等の無償貸与、役務の提供、広告掲示等による協力。

<協賛者特典一覧>

区分		200万円以上	100万円以上 200万円未満	30万円以上 100万円未満	10万円以上 30万円未満	1万円以上 10万円未満
1	全国植樹祭式典等への「特別招待者枠」を確保	○ 2枠確保	○ 1枠確保			
2	実行委員会会長(鳥根県知事)による感謝状贈呈式の開催(対外的にPR)	○				
3	式典(エピローグ)大型スクリーンへの協賛者名の掲載	○	○	○		
4	実行委員会発行の定期刊行物、式典プログラム、式典会場協賛者ボード、全国植樹祭記念誌への掲載	○	○	○	○	
5	全国植樹祭ホームページでの協賛者のバナー広告(協賛者HPへリンク)	○	○	○	○	
6	全国植樹祭ホームページでの協賛者の紹介	○	○	○	○	○
7	植樹祭支援呼称・シンボルマーク等の使用	○	○	○	○	○



鷺舞神事(津和野町)
国重要無形民俗文化財



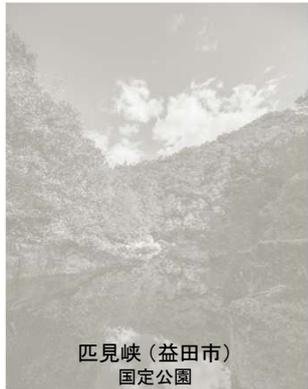
出雲大社
国宝



石見神楽
日本遺産



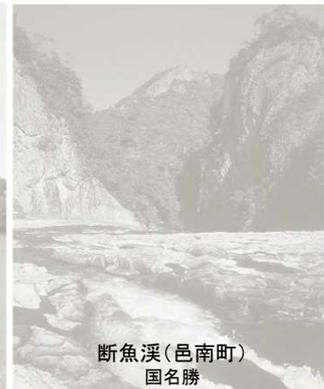
日刀保たたら(奥出雲町)
国選定保存技術



匹見峡(益田市)
国定公園



三瓶山北の原
国立公園



断魚溪(邑南町)
国名勝



足立美術館枯山水庭
(安来市)



石見銀山龍源寺間歩(大田市)
世界遺産

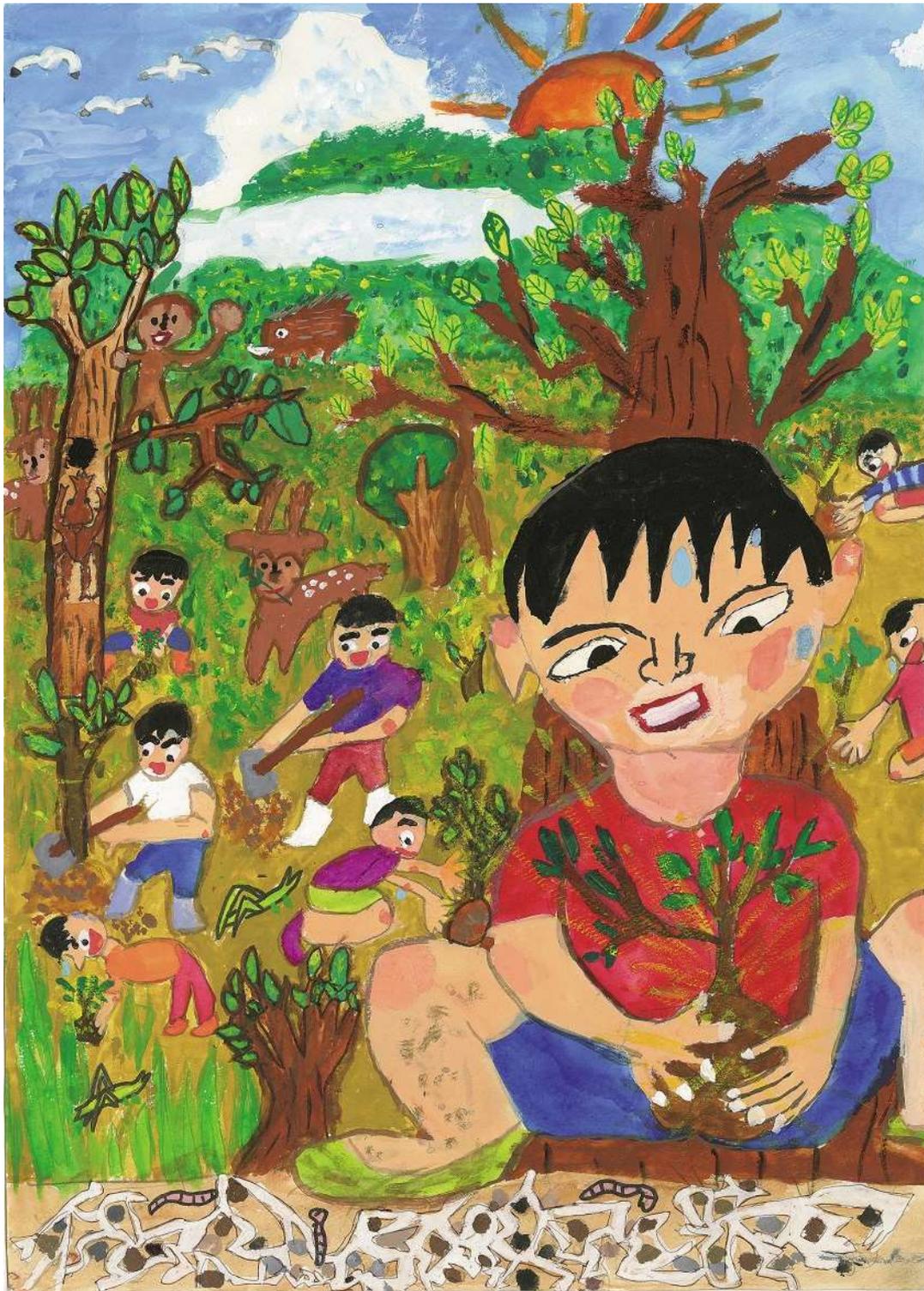


牛突き(隠岐の島町)
県無形民俗文化財



松江城天守
国宝

【表紙写真】



第71回全国植樹祭 実施計画

令和2年1月

第71回全国植樹祭島根県実行委員会事務局
(島根県農林水産部林業課全国植樹祭推進室内)

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地

電話番号：0852-22-6558 ファクシミリ番号：0852-22-6528

ホームページ：<https://www.syokujusai-shimane2020.jp/>

または、「第71回全国植樹祭しまね2020」で検索してください。